令和8年度　第1回
新川地域医療構想調整会議
新川地域医療推進対策協議会　　及び
新川地域医療と介護の体制整備に係る協議の場

日時：令和8年11月4日（水）　14時30分～16時
場所：新川厚生センター2階会議室（ハイブリッド）

1 開　会

2 あいさつ

3 議　題

（1）　現行の地域医療構想における進捗について

（2）　2040年に向けた地域医療構想の策定について

（3）　第8次医療計画中間見直しについて

（4）　医師確保計画（第8次後期）の策定について

（5）　外来医療計画（第8次後期）の策定について

4 閉　会

【配付資料】

資料１　地域医療構想の必要病床数と病床機能報告における医療機能の推移＜新川医療圏＞
資料２　新たな地域医療構想の策定について（概要）
資料３　新川圏域における医療提供の現状と将来推計
資料４　地域医療推進対策協議会部会における検討のまとめ＜新川医療圏＞
資料５　第8次富山県医療計画の中間評価・見直しについて
資料６　医師確保計画について
資料７　外来医療計画にかかる協議事項について＜新川医療圏＞

参考資料１　一般病床と医療療養病床の推移＜新川医療圏＞
参考資料２　管内推計人口
参考資料３　新川地域医療推進対策協議会各部会の開催状況、各部会名簿
参考資料４　病床数適正化緊急支援事業について
参考資料５　医療機関機能報告の概要について
参考資料６　精神医療に関する地域医療構想に係る今後のスケジュール
参考資料７　多職種連携について
参考資料８ -1　富山県における介護保険施設及び在宅医療の提供体制について
参考資料８ -2　第8次医療計画における在宅医療体制について
参考資料９　新川医療圏における急性期病院の救急医療・手術の実施状況

新川地域医療構想調整会議委員

任期:令和7年11月17日～令和9年11月16日

		職　名	氏　名	備　考
1	医師会	下新川郡医師会長	金田　真	
2		魚津市医師会長	美濃　一博	
3	歯科医師会	下新川郡歯科医師会長	小杉　斉	
4		富山県歯科医師会	野田　修	
5	薬剤師会	富山県薬剤師会 魚津支部長	畠山　規明	
6		富山県薬剤師会 下新川支部長	藤澤　志信	
7	看護協会	富山県看護協会 黒部･魚津支部担当理事	渡邊　和美	
8	民間病院	全日本病院協会富山県支部	深川 差雅香	
9	公的病院	あさひ総合病院長	東山　考一	
10		黒部市民病院長	辻　宏和	
11		富山労災病院長	角谷　直孝	
12	医療保険者	全国健康保険協会富山支部業務部長	金澤　俊明	
13		YKK健康保険組合常務理事	今井　貴史	
14		魚津市民生部市民環境課長	石浦 満理子	
15	介護保険者	魚津市民生部次長･社会福祉課長	矢野　道宝	
16		新川地域介護保険･ケーブルテレビ事業組合事務局長	越　雄一	
17	介護･福祉施設	あんどの里施設長	大崎　雅子	
18	医療を受ける立場	朝日町社会福祉協議会長	小澤　政憲	
19		入善町母子保健推進員連絡協議会長	西川　陽子	
20		黒部市更生保護女性会長	朝倉　弘子	
21	市町村	魚津市 副市長	石黒　雄一	
22		黒部市 副市長	島田　恭宏	
23		入善町 副町長	竹島　秀浩	
24		朝日町 副町長	廣澤　久也	
		計24名		

新川地域医療推進対策協議会委員

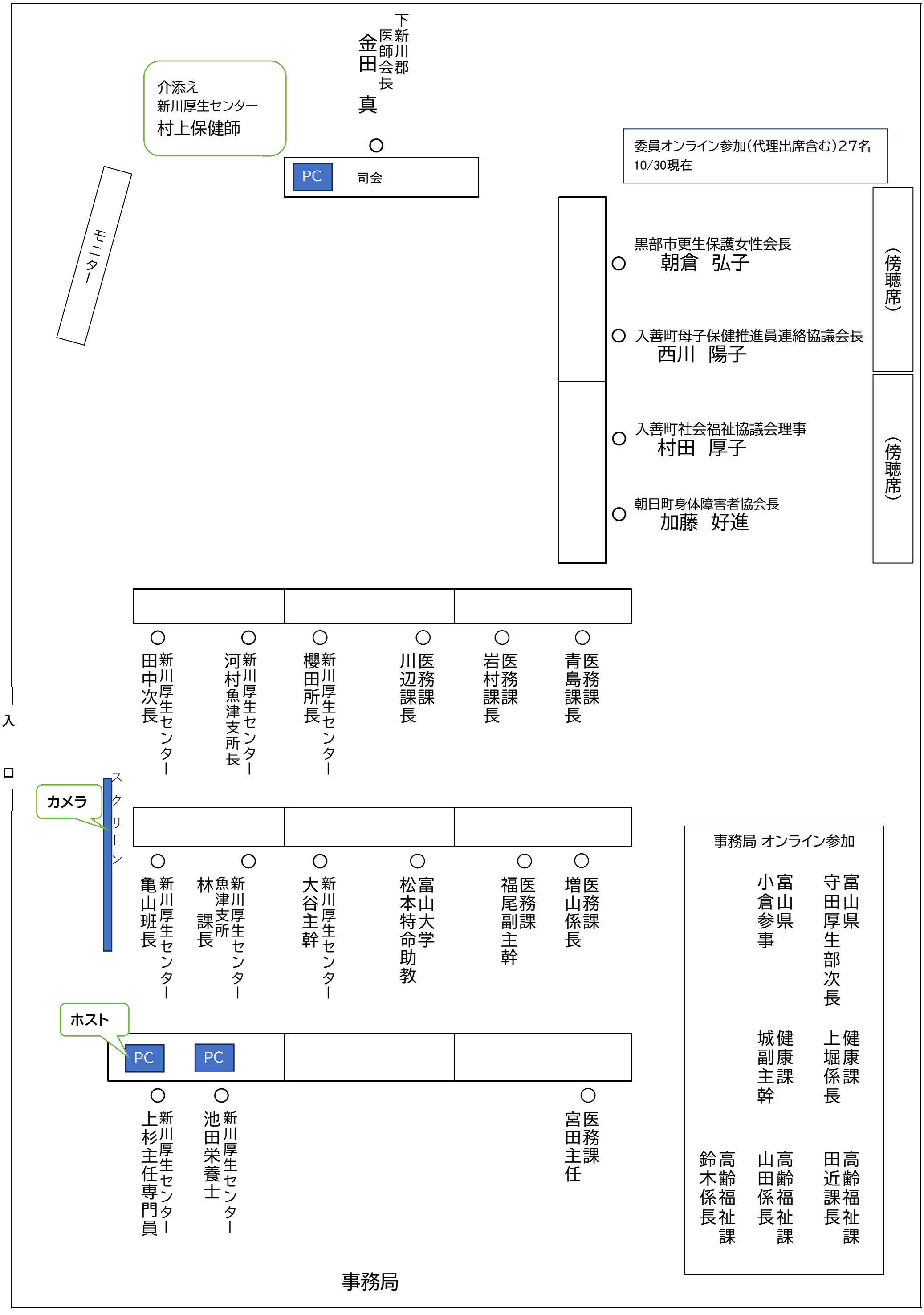
任期：令和8年8月26日～令和10年8月25日

機関団体名等	No	職　名	氏　名	備　考
市町村	1	魚津市副市長	石黒　雄一	
	2	黒部市副市長	島田　恭宏	
	3	入善町副町長	竹島　秀浩	
	4	朝日町副町長	廣澤　久也	
公的病院	5	あさひ総合病院長	東山　考一	
	6	黒部市民病院長	辻　宏和	
	7	富山労災病院長	角谷　直孝	
医師会	8	下新川郡医師会長	金田　真	
	9	魚津市医師会長	美濃　一博	
	10	富山県医師会　常任理事	鳴河　宗聡	
在宅医療関係者	11	新川地域在宅医療療養連携協議会長	島谷　明義	
	12	にいかわ認知症疾患医療センター長	紋川　明和	
歯科医師会	13	下新川郡歯科医師会長	小杉　斉	
	14	富山県歯科医師会代議員会議長	野田　修	
薬剤師会	15	富山県薬剤師会 魚津支部長	畠山　規明	
	16	富山県薬剤師会 下新川支部長	藤澤　志信	
看護関係者（病院）	17	富山労災病院 看護部長	尾形　直美	
関係行政機関	18	新川地域消防本部 消防長	山瀬　一生	
看護関係者（訪問看護）	19	入善訪問看護ステーション 管理者	上田　百合子	
施設関係者	20	あんどの里 施設長	大崎　雅子	
	21	あおの丘　施設長	島先　亜希	
	22	魚津市介護保険サービス事業者連絡協議会　ケアマネ部会長	田中　幸子	
社会福祉関係者	23	入善町社会福祉協議会理事	村田　厚子	
	24	黒部市更生保護女性会長	朝倉　弘子	
	25	朝日町身体障害者協会長	加藤　好進	
		計25名		

令和8年度第1回「新川地域医療構想調整会議」「新川地域医療推進対策協議会」「医療と介護の体制整備に係る協議の場」（合同会議）　配席図

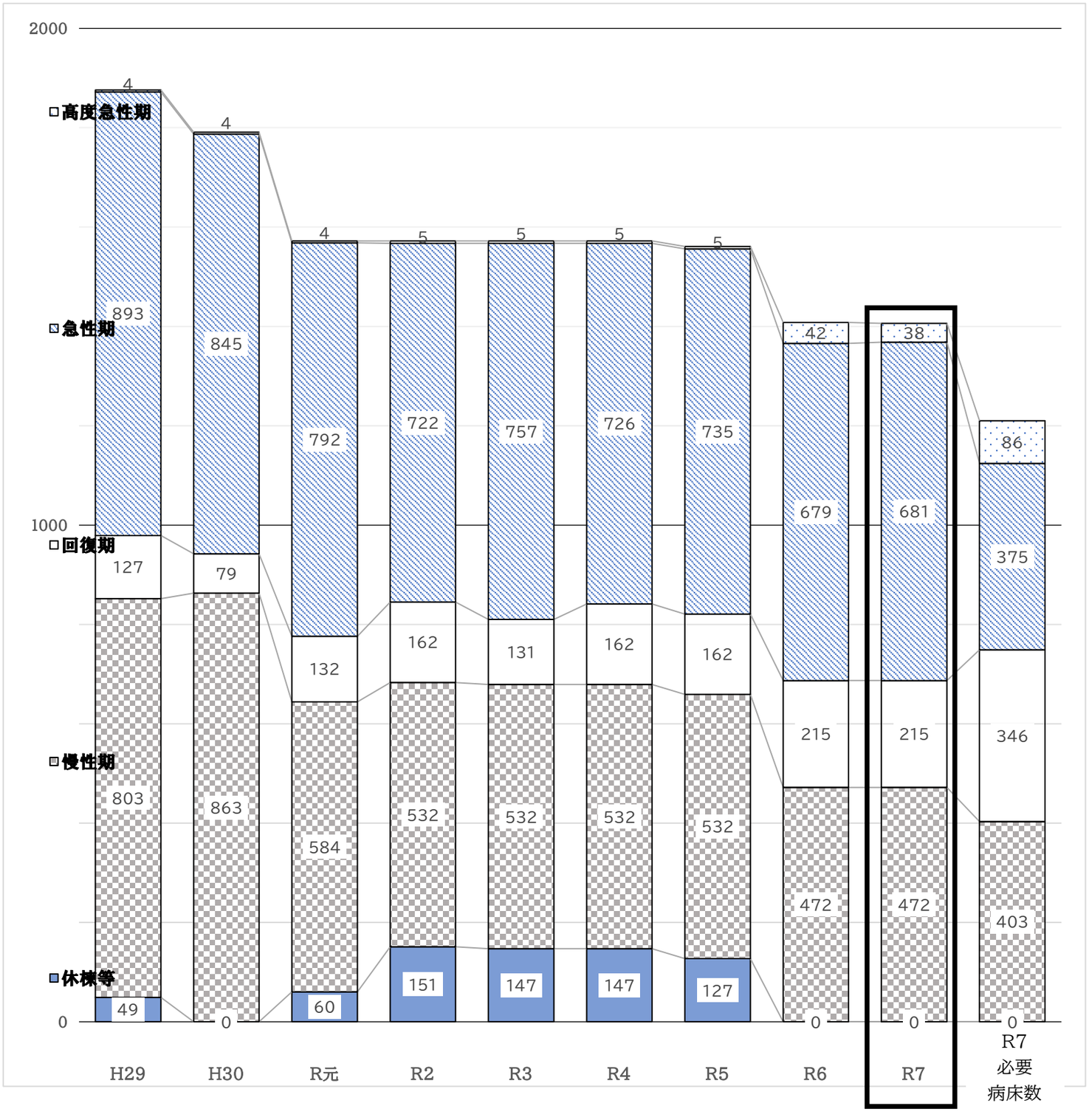
令和８年11月４日（水）

オンライン（ハイブリッド新川厚生センター2階会議室）



地域医療構想の必要病床数と病床機能報告における医療機能の推移
＜新川医療圏＞

資料 1



医療機能	H29年 病床機能報告	H30年 病床機能報告	R元年 病床機能報告	R2年 病床機能報告	R3年 病床機能報告	R4年 病床機能報告	R5年 病床機能報告	R6年 病床機能報告	R7年 病床機能報告	R7 必要病床数	必要病床数－今後の予定
高度急性期	4	4	4	5	5	5	5	42	38	86	48.0
急性期	893	845	792	722	757	726	735	679	681	375	-306.0
回復期	127	79	132	162	131	162	162	215	215	346	131.0
慢性期	803	863	584	532	532	532	532	472	472	403	-69.0
休棟等	49	0	60	151	147	147	127	0	0	0	0.0
計	1,876	1,791	1,572	1,572	1,572	1,572	1,561	1,408	1,406	1,210	-196.0

資料２

新たな地域医療構想の策定について（概要）

新たな地域医療構想について

・地域医療構想の作成に当たっては、医療法第30条の３第１項に規定する基本方針に則して、かつ、医療提供体制の現状及び今後の医療需要の変化を含む地域の実情に応じて、関係者の意見を十分踏まえた上で行い、次の事項を定めるものとされている。
（医政発0805第３号令和８年８月５日付　厚生労働省医政局長通知より　一部追記）
・遅くとも令和10年度までに地域医療構想を策定

○　地域医療構想で定める内容

（１）将来の医療提供体制の基本的な方向に関する事項

（２）構想区域

（３）構想区域における将来の医療機関機能の見通し

（４）構想区域における病床の機能区分ごとの将来の病床数の必要量（いわゆる「必要病床数」）

（５）地域医療構想の達成に向けた医療機関機能の分化及び連携の推進に関する事項

（６）地域医療構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携の推進に関する事項

（７）外来医療及び在宅医療に係る医療提供体制の確保並びに医療と介護の連携及び医療従事者確保に関する事項

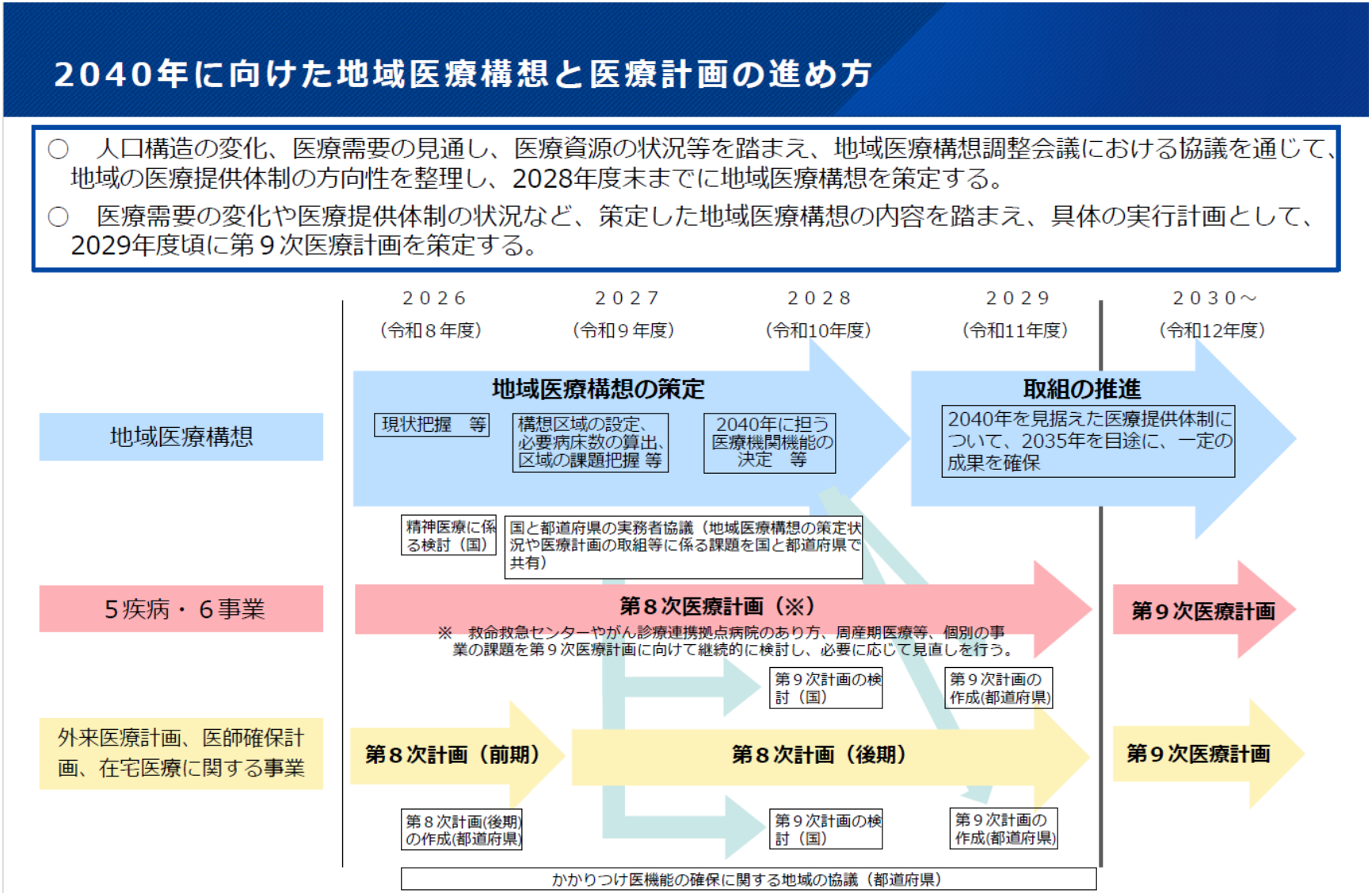
（８）医療機関機能に関する情報の提供の推進に関する事項

（９）病床の機能に関する情報の提供の推進に関する事項

⇒　令和８年度は、以下の２点について、主に議論を進めていく予定
（１）将来の医療提供体制の基本的な方向に関する事項
（２）構想区域

新たな地域医療構想策定までのスケジュール

・2027年度上半期頃までに、医療需要の見通しや医療提供体制の現状等について、客観的なデータに基づく分析を行うとともに、データに基づく議論、課題の整理、構想区域の点検を実施
・2028年度までに、急性期拠点機能を担う医療機関の具体的な医療機関名も含め、2040年において各医療機関が担う医療機関機能、2040年の必要病床数、入院・外来・在宅・介護連携・人材確保に関する取り組みを地域医療構想調整会議で協議し、地域医療構想を策定



厚生労働省　地域医療構想策定ガイドライン参考資料　より

令和８年度～令和９年度上半期　のスケジュール

・令和８年度から令和９年度上半期ごろにかけて、地域医療構想調整会議等での議論を経ながら、構想区域、新たな地域医療構想の方向性について、結論を得ることとしたい。現時点での具体的なスケジュールは以下のとおり。

今後のスケジュール（案）

令和８年度	10月～　医療機関機能報告（対象：病院・有床診療所　報告〆切：12月11日） 10月～11月　地域医療構想調整会議 12月　医療審議会 　・構想区域 　・新たな地域医療構想の方向性　に係る現状の報告 ２月～３月　地域医療構想調整会議 　・構想区域 　・新たな地域医療構想の方向性（骨子）　素案についてのご意見 ３月　医療審議会 　・構想区域 　・新たな地域医療構想の方向性（骨子）　素案の提示 ３月　医療機関機能報告とりまとめ
令和９年度	上半期　〇地域医療構想調整会議 〇医療審議会 　・構想区域 　・新たな地域医療構想の方向性　の設定

新たな地域医療構想の策定に向けた協議事項
（１）将来の医療提供体制の基本的な方向について
（２）構想区域の設定について

将来の医療提供体制の基本的な方向性について

【目標】将来にわたり、全ての地域・世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できる医療提供体制の構築
【基本的な方向性】**①がんや脳卒中、周産期医療など、広域での再編・集約化を検討すべき高度専門的な医療機能**と、**②高齢者救急の受入れ、在宅医療や訪問看護の提供、高齢者施設入所者等の緊急時の受入れなど、身近な区域で確保すべき医療機能**について整理し、**将来を見据えた持続可能な医療提供体制を構築**していく。

＜背景＞

- 医療と介護の複合ニーズを抱える85歳以上の高齢者の増加
- 生産年齢人口の減少
- 外科医をはじめとする医師の不足
- 診療所医師の高齢化

など

⇒

- **高齢者救急・在宅医療ニーズの増加**
- **高度な急性期医療需要の減少**
- **医療従事者の確保が困難**

など

＜基本的な方向性＞

① 広域での再編・集約化を検討すべき高度専門的な医療機能

② 身近な区域で確保すべき医療機能

①、②それぞれを整理して、医療提供体制を構築していくことが必要

⇒

＜地域医療構想の作成にあたっての取組み＞

・各地域における医療・介護需要の見通しや医療従事者確保の状況など、実情を丁寧に把握
・将来を見据えた医療機関の役割分担や医療・介護の連携強化等について協議
⇒医療提供体制の再構築を計画的に進め、限られた医療人材に持続的に活躍いただきながら、**地域全体として必要な機能の維持・向上**

構想区域について（地域医療構想策定ガイドライン・参考資料より抜粋）

構想区域は①医療提供体制の構築および②必要病床数の運用のための単位として設定

・これまで、**二次医療圏や構想区域は一定の医療が完結することを目的に設定**してきた。

・また、**構想区域は原則として二次医療圏に一致させて運用すること**としている。

・現在の患者動向を前提として、人口動態、医療資源、医療へのアクセス等を踏まえながら、**将来にわたって医療機関機能を確保**し、**必要病床数等の制度運用**や、**地域の医療関係者が実効的な協議をするため**に適当な単位として、**必要に応じて、現在の構想区域の広域化等を検討する必要がある。**

構想区域の役割

① 医療提供体制の構築

- 医療機関機能の確保や医療機関の連携・再編・集約化等の協議や取組を行う単位
- 将来にわたり、医療資源に応じた効率的な医療提供体制が確保できるよう、特に、急性期拠点機能の確保の観点から、緊急手術等の急性期医療の需要が一定程度発生し、こうした需要に対応する体制を合理的に確保できる単位として設定する必要

⇒2040年時点の人口規模として20万人以上を目安としながら検討する必要

② 必要病床数の運用

- 今後入院医療の需要が減少することも踏まえ、2040年に必要な病床数を確保するために設定する単位
- 特に、病床機能別に適切な病床数が確保できるよう、地域医療構想調整会議等での議論の進行や適切な法令上の権限行使を行うことが可能な単位として設定する必要

⇒都道府県が人口規模や医療機関の配置、患者の流出入等を踏まえて設定

構想区域について（地域医療構想策定ガイドライン・参考資料より抜粋）

・これまで、**二次医療圏については、(①)人口規模が20万人未満、(②)流入患者割合が20％未満、(③)流出患者割合が20％以上の全てに当てはまる場合は、圏域設定を見直すこと**等を示してきている。2040年やその先を見据えた構想区域の設定に当たっても、こうした**人口規模、流入患者割合、流出患者割合といったデータや、一部の地域において隣の医療圏との間で患者が流出入している実態等を踏まえ、現状と課題を認識し、適切な区域の設定や必要な区域間の連携体制の構築**を行う。

・なお、構想区域の決定後においても、**第９次医療計画等に向け、各分野の圏域設定については引き続き検討**していく必要がある。

構想区域と二次医療圏について

	構想区域	二次医療圏
圏域数	**３３９構想区域**（令和７年５月現在）	**３３０医療圏**（令和７年５月現在）
定義	人口構造の変化の見通し（中略）その他の事情を考慮して、一体の区域として**地域における医療機関機能の分化及び連携並びに病床の機能の分化及び連携を推進することが相当であると認められる区域**を単位として設定。	地理的条件等の自然的条件及び（中略）社会的条件を考慮して、一体の区域として**病院及び診療所における入院に係る医療を提供する体制の確保を図ることが相当であると認められるもの**を単位として設定。
設定する病床数	必要病床数	基準病床数
区域の設定	二次医療圏と原則一致するものとして設定	人口規模が20万人未満で、特に、流入患者割合が20%未満であり、流出患者割合が20%以上である場合に、設定の見直しを検討

➡

・2040年に向けた医療提供体制の構築の単位として、構想区域の見直しを検討

・第９次医療計画に向け、二次医療圏も、構想区域と原則として一致させる

（参考）二次医療圏の見直し基準

・県内4医療圏において、現時点で見直し基準に該当する医療圏はなし

①人口規模が20万人未満
②流入患者割合が20％未満
③流出患者割合が20％以上

} の全てに当てはまる場合

＜本県における二次医療圏ごとの①～③の状況＞

	①人口（人）		②流入率：一般・療養病床（%）		③流出率：一般・療養病床（%）	
	現時点	2040年推計	医療需要全体	（参考）高度急性期・急性期医療需要	医療需要全体	（参考）高度急性期・急性期医療需要
新川医療圏	105,962	87,352	6.8	6.0	16.2	18.3
富山医療圏	474,700	427,856	14.2	17.0	3.3	3.5
高岡医療圏	285,133	241,800	7.7	8.3	17.5	18.3
砺波医療圏	116,352	94,904	9.8	7.7	18.9	26.7
合計	982,147	851,912				
出典	令和７年国勢調査	将来推計人口 令和５(2023)年推計	2024年度NDB （厚生労働省算出）	地域医療構想策定支援ツール （厚生労働省提供）より算出	2024年度NDB （厚生労働省算出）	地域医療構想策定支援ツール （厚生労働省提供）より算出

区域の点検・見直しについて（地域医療構想策定ガイドラインより抜粋）

一定の医療提供体制が完結していない等の課題がある構想区域については、区域の統合や再編等の対応を検討する

・都道府県は、**将来人口推計、患者の流出入、医療機関の配置状況、医療従事者の確保状況、医療へのアクセス等の客観的なデータや、一部の地域において隣接する区域に患者が流出している等の実態等を踏まえて、現在の構想区域ごとに、現在及び将来の医療需要や人材確保の観点で、区域として一定の医療提供の完結が可能か**、都市部を中心とした人口が多く公共交通機関が発達している地域においては、協議する単位として適切であるか等の**課題を整理する**。

・その上で、都道府県は、**課題がある構想区域については、現在の区域の維持、隣接する区域との統合又は再編等の対応について検討**する。

・見直し案の作成に当たっては、例えば次のような方向性が考えられる。

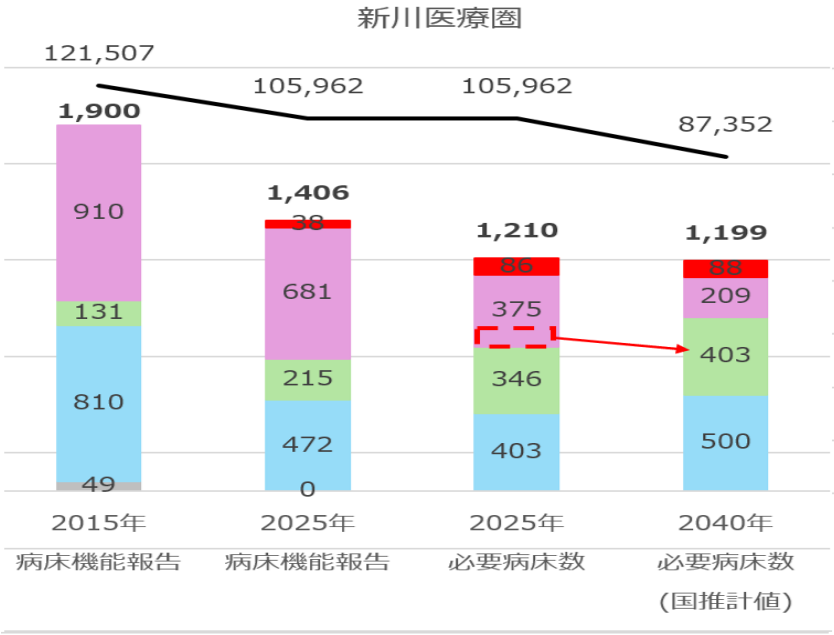
○構想区域の統合

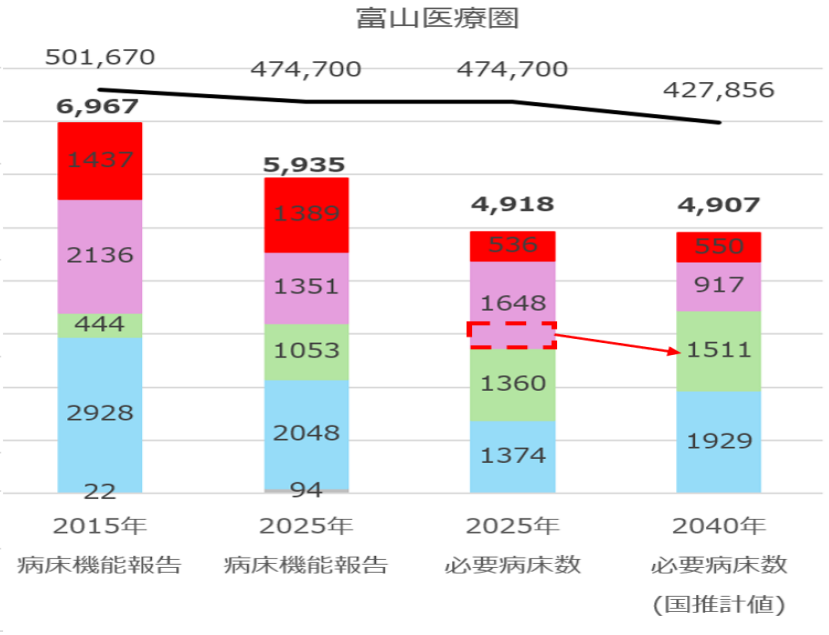
－ **人口規模が小さい区域や医療資源が限られている区域で、隣接する構想区域に多く患者が流出しており、将来的には、当該隣接区域と一体的に医療提供体制の確保を検討することが適切な場合**は、構想区域を統合する案が検討される。

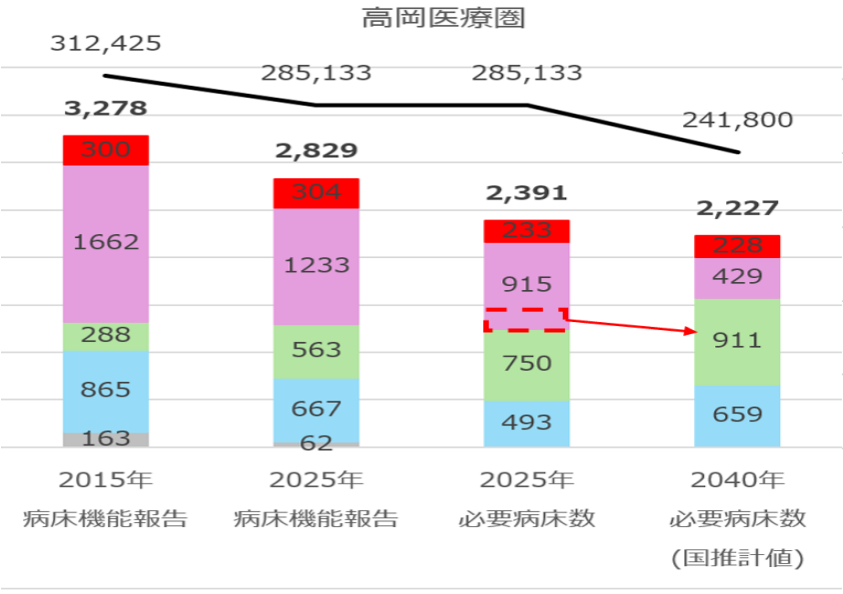
○構想区域の再編

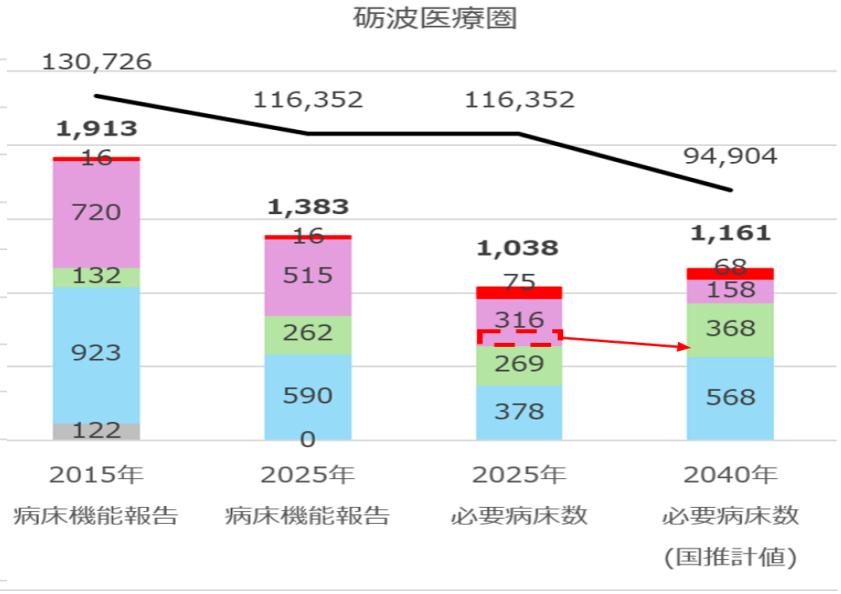
－ **構想区域内の一部の市区町村について、患者の実際の受療行動が隣接する構想区域と強く結びついている場合**は、当該市区町村を当該隣接区域に含める案が検討される。

現在の４区域における病床機能報告等の推移

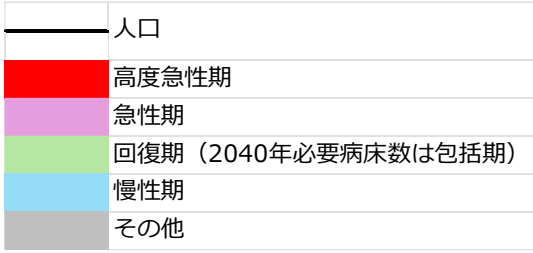








2040年必要病床数については、国推計値を参考に、地域の実情や協議の結果を踏まえて2028年度までに決定する



出典：病床機能報告（2015年、2025年）、厚生労働省　必要病床推計ツール、国勢調査（2015年、2025年）

※必要病床数（2040年）は上記推計ツールにより算出された改革モデル（地域医療構想の取組による効果、包括期への移行（75歳以上の急性期の入院患者の50%を包括期に移行）等を反映した必要病床数）を使用

※2040年推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所男女･年齢(5歳) 階級別データ『日本の地域別将来推計人口』の推計人口を使用

本日の協議事項



2040年における新川構想区域のあり方はどうあるべきか

（データ分析・地域医療推進対策協議会各疾病部会の結果をふまえて）

資料　３

新川圏域における医療提供の現状と将来推計

令和8年１１月

富山大学医学部　地域医療データ分析室　特命助教

松本　清明

matukiyo@med.u-Toyama.ac.jp

projectt@med.u-toyama.ac.jp

資料の内容

I. 新川圏域の分析結果
（持続可能な医療提供体制に向けた論点）
II. 各圏域の将来人口推計
III. 患者移動からみた構想区域の医療提供状況
IV. 疾病からみた入院患者移動と圏域別将来需要
V. 救急医療からみた急性期医療提供体制
VI. 在宅医療からみた圏域別将来需要

データから見る新川圏域の医療提供状況と将来推計

以下データを基にした分析結果を示します。

・NDBデータ（2024年度）
（厚生労働省から供与）
・DPCデータ（2025年度）
（データ分析事業で収集）
・消防データ（2025年度）
（データ分析事業で収集）
・KDBデータ（2024年度）
（データ分析事業で収集）

Ⅰ. 新川圏域の分析結果

（持続可能な医療提供体制に向けた論点）

人口減少・高齢化の中で、新川圏域の医療提供体制をどう持続するか

・新川圏域では2025年から2040年に総人口は約２割減少する(P8)一方、85歳以上人口は約3割増加する（P10）。

総人口の減少と高齢者人口の増加（特に85歳以上人口の増加）が同時に進むため、人口総数の変化だけでは将来の医療需要を捉えきれない。将来的に圏域内での診療機能の維持困難となる可能性がある領域については、早い段階から圏域外への集約化も視野に入れた圏域間連携による診療体制のあり方の検討が重要となる。

・NDBによる新川圏域の圏域内完結率は高度急性期・急性期では81.7%で流出患者の多くが富山圏域に流出している（富山圏域への患者流出が15%を超える）（P13)。
富山圏域への患者流出を含めて医療需要を捉える必要がある。圏域外への流出を踏まえて、圏域内で完結できる医療と完結できない医療が何かを明確にし、富山圏域との連携を含めた医療体制の議論を行う必要がある。

・がん等の各疾患は患者数の減少が予想される。
全体的に、黒部市を中心とした治療体制を維持していくための体制づくりが論点になる。**がん**の手術療法、化学療法については、3割以上の患者が富山圏域へ流出しており、この傾向は今後も続くと考えられる(P20,22)。**脳卒中**は、富山圏域に約3割流出し（P28）、今後は急性期治療を要する患者数自体が減るので(P26)、減少した患者数での医療提供体制の維持が問題になる。**虚血性心疾患**の外科手術等の高度急性期治療に関しては、約2割が圏域外に流出している現状を踏まえ(P32)、包括期やリハビリを含めた役割分担の検討が求められる。

人口減少・高齢化の中で、新川圏域の医療提供体制をどう持続するか

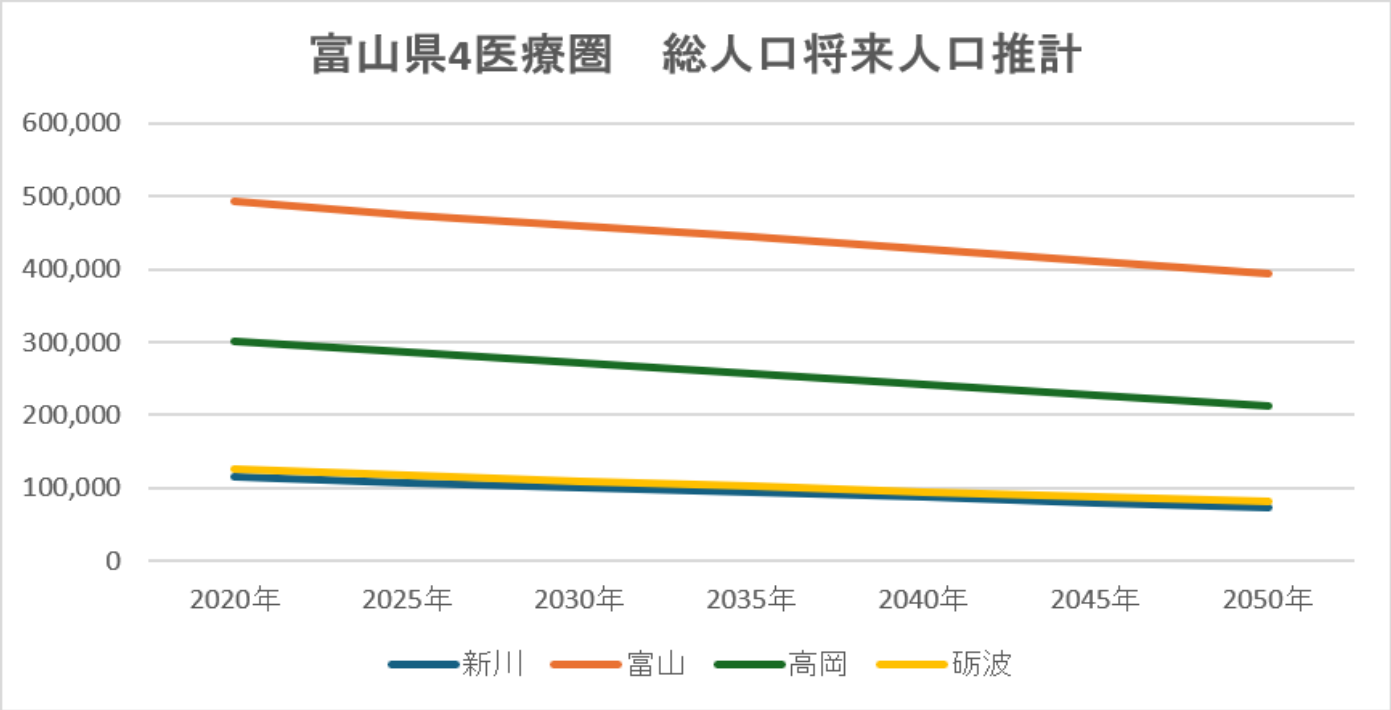
・周産期・小児では2040年に向け新川圏域の全身麻酔手術あり患者数は22%の減少が見込まれる(P34)。現状では新川圏域から富山圏域への患者移動は21.4%である(P36)。
患者数の減少に応じた新川圏域内での医療提供体制の維持が論点となる。

・救急搬送入院患者については、全数、全身麻酔症例の圏域内完結率はそれぞれ92.4%、83.3%と比較的高い（P43）。今後、85歳以上の年齢層の人口増加の予測から、救急搬送入院の増加が見込まれる。そのため、救急搬送入院になる85歳以上に多い疾患の実態を踏まえ（P44）、医療機関の役割分担を整理し、圏域内での救急医療提供体制を維持・確保していくことが重要である。

・在宅医療では、県全体で65歳以上の患者の家庭への退院が減少し、高齢者施設への退院が増加する(P47-50)。新川圏域では、65歳以上の入院の総数は2.3%の減少で推移し(P47)、訪問診療患者数は増加する見込みである(P51)。
85歳以上人口が約3割増加することも踏まえ、2040年に向けた在宅医療・介護需要への対応が新川圏域の論点となる。今後しばらくは在宅医療の需要の増加が見込まれるので、公立・公的病院からの在宅医療の提供も検討の可能性あり。

Ⅱ.各圏域の将来人口推計

富山県4医療圏
総人口将来人口推計



圏域	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025→2040増減率
新川	115,093	107,777	101,003	94,209	87,352	80,709	74,396	-19.0%
富山	493,562	474,221	459,719	444,224	427,856	411,072	394,620	-9.8%
高岡	301,085	286,890	272,323	257,256	241,800	226,439	211,745	-15.7%
砺波	125,074	116,724	109,359	102,127	94,904	87,771	80,958	-18.7%

※2020年のみ実績値、2025年以降の人口は推計値を使用

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」を基に作成

富山県4医療圏 年齢区分別 将来人口推計

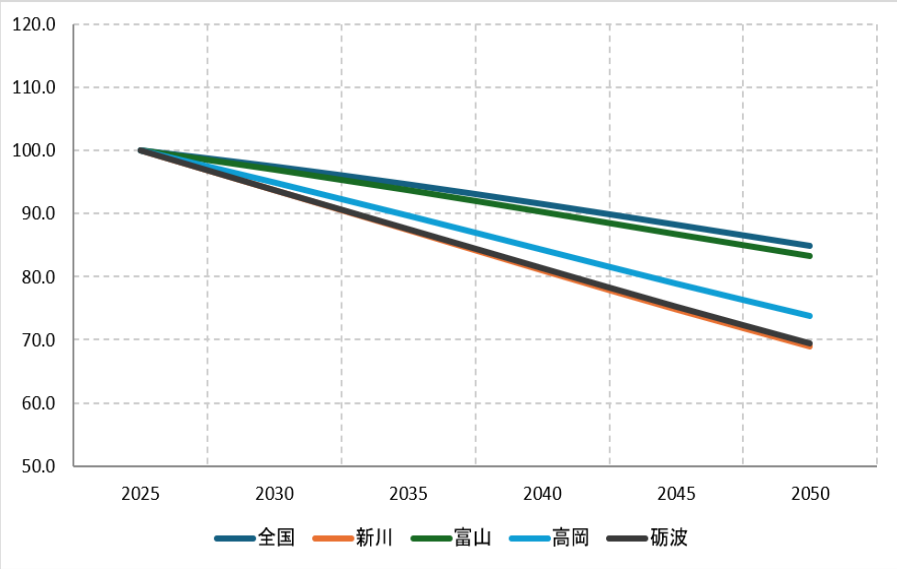
圏域	年齢区分	2025年推計	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	2025→2040増減率
新川	総人口	107,777	101,003	94,209	87,352	80,709	74,396	-19.0%
	0～14歳	10,011	8,625	7,648	7,182	6,649	5,984	-28.3%
	15～64歳	57,936	53,638	48,829	42,515	38,000	34,619	-26.6%
	65歳以上	39,830	38,740	37,732	37,655	36,060	33,793	-5.5%
	65～74歳	15,017	13,856	13,999	15,115	14,307	11,410	0.7%
	75歳以上	24,813	24,884	23,733	22,540	21,753	22,383	-9.2%
	85歳以上	8,371	9,172	11,045	10,701	9,681	9,233	27.8%
富山	総人口	474,221	459,719	444,224	427,856	411,072	394,620	-9.8%
	0～14歳	50,981	46,053	42,686	41,965	40,595	38,191	-17.7%
	15～64歳	273,916	264,841	251,036	228,462	213,113	203,050	-16.6%
	65歳以上	149,324	148,825	150,502	157,429	157,364	153,379	5.4%
	65～74歳	58,237	54,936	59,481	68,909	67,786	55,865	18.3%
	75歳以上	91,087	93,889	91,021	88,520	89,578	97,514	-2.8%
	85歳以上	29,137	33,834	41,509	41,202	37,882	37,200	41.4%
高岡	総人口	286,890	272,323	257,256	241,800	226,439	211,745	-15.7%
	0～14歳	28,704	25,336	22,887	21,732	20,311	18,431	-24.3%
	15～64歳	157,860	149,255	138,509	122,380	110,969	102,583	-22.5%
	65歳以上	100,326	97,732	95,860	97,688	95,159	90,731	-2.6%
	65～74歳	38,277	34,487	35,575	40,864	40,058	32,284	6.8%
	75歳以上	62,049	63,245	60,285	56,824	55,101	58,447	-8.4%
	85歳以上	19,569	22,280	28,096	27,465	24,551	23,058	40.3%
砺波	総人口	116,724	109,359	102,127	94,904	87,771	80,958	-18.7%
	0～14歳	11,591	9,696	8,404	7,940	7,426	6,756	-31.5%
	15～64歳	61,406	57,379	52,904	46,289	40,887	36,945	-24.6%
	65歳以上	43,727	42,284	40,819	40,675	39,458	37,257	-7.0%
	65～74歳	17,000	14,841	14,163	15,522	15,718	13,085	-8.7%
	75歳以上	26,727	27,443	26,656	25,153	23,740	24,172	-5.9%
	85歳以上	9,402	9,753	12,134	12,324	11,369	10,486	31.1%

※2025年以降の人口は推計値を使用

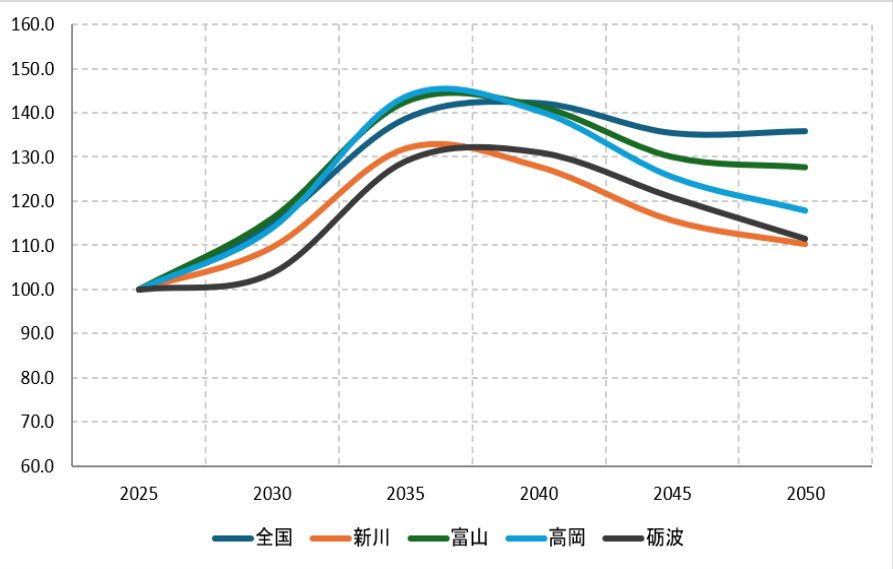
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」を基に作成

全国と富山県4医療圏の将来人口比較（2025年推計を100とした変化）

総人口



85歳以上人口



地域	2025年	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計
全国	100.0	97.4	94.6	91.5	88.3	84.9
新川	100.0	93.7	87.4	81.0	74.9	69.0
富山	100.0	96.9	93.7	90.2	86.7	83.2
高岡	100.0	94.9	89.7	84.3	78.9	73.8
砺波	100.0	93.7	87.5	81.3	75.2	69.4

地域	2025年	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計
全国	100.0	114.9	138.8	142.3	135.5	135.9
新川	100.0	109.6	131.9	127.8	115.6	110.3
富山	100.0	116.1	142.5	141.4	130.0	127.7
高岡	100.0	113.9	143.6	140.3	125.5	117.8
砺波	100.0	103.7	129.1	131.1	120.9	111.5

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」を基に作成

Ⅲ．患者移動からみた構想区域の医療提供状況（NDBデータ）

NDB構想区域別の入院医療の完結率と構想区域間患者流動（2024年度）

構想区域間内患者完結率

構想区域	全医療需要の完結率	高度急性期・急性期の完結率	高度急性期・急性期の患者流出入調整係数
新川	83.8%	81.7%	0.84
富山	96.7%	96.5%	1.17
高岡	82.5%	81.7%	0.87
砺波	81.1%	73.3%	0.72

患者流出入調整係数
1.00：流入と流出が均衡
1.00超：流入超過 → 周辺地域から患者を受ける側
1.00未満：流出超過 → 他地域への依存が強い側

高度急性期・急性期　流出率

患者住所地＼医療機関所在地	新川	富山	高岡	砺波	県外への流出率
新川	81.7%	15.9%	0.7%	0.1%	**1.6%**
富山	0.7%	96.5%	0.7%	0.2%	**2.0%**
高岡	0.0%	13.6%	81.7%	1.6%	**3.1%**
砺波	0.0%	7.9%	9.6%	73.3%	**9.1%**

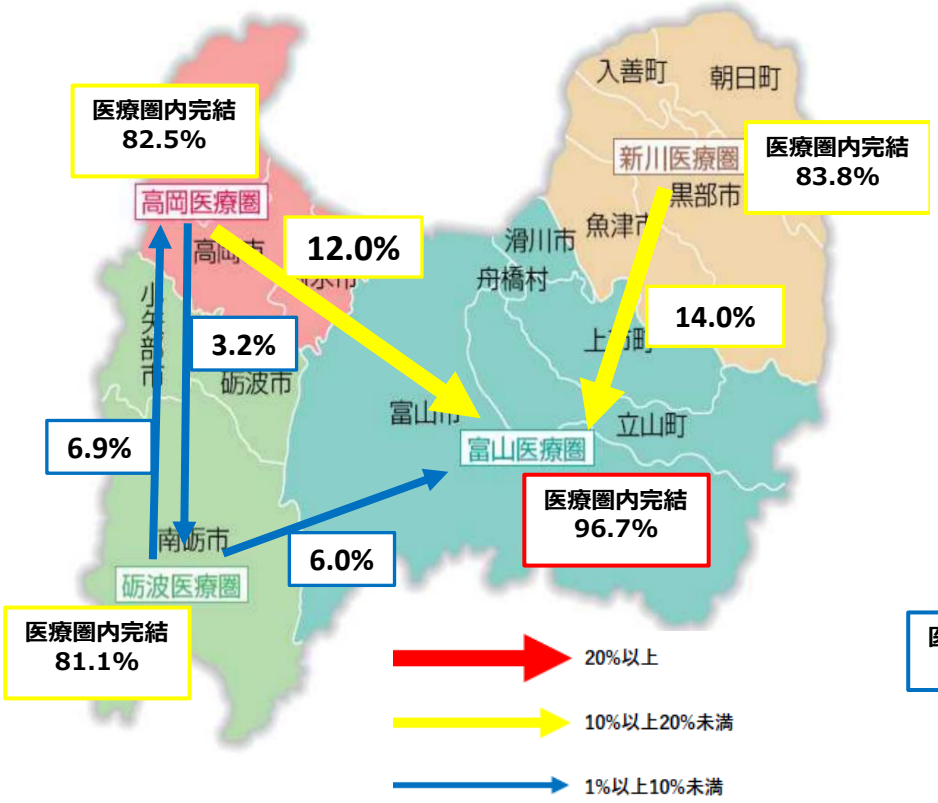
高度急性期・急性期　流入率

患者住所地＼医療機関所在地	新川	富山	高岡	砺波	県外からの流入率
新川	94.0%	4.2%	0.4%	0.1%	**3.5%**
富山	2.5%	83.0%	1.3%	0.8%	**3.9%**
高岡	0.1%	7.2%	91.7%	5.0%	**2.2%**
砺波	0.0%	1.7%	4.4%	92.3%	**1.9%**

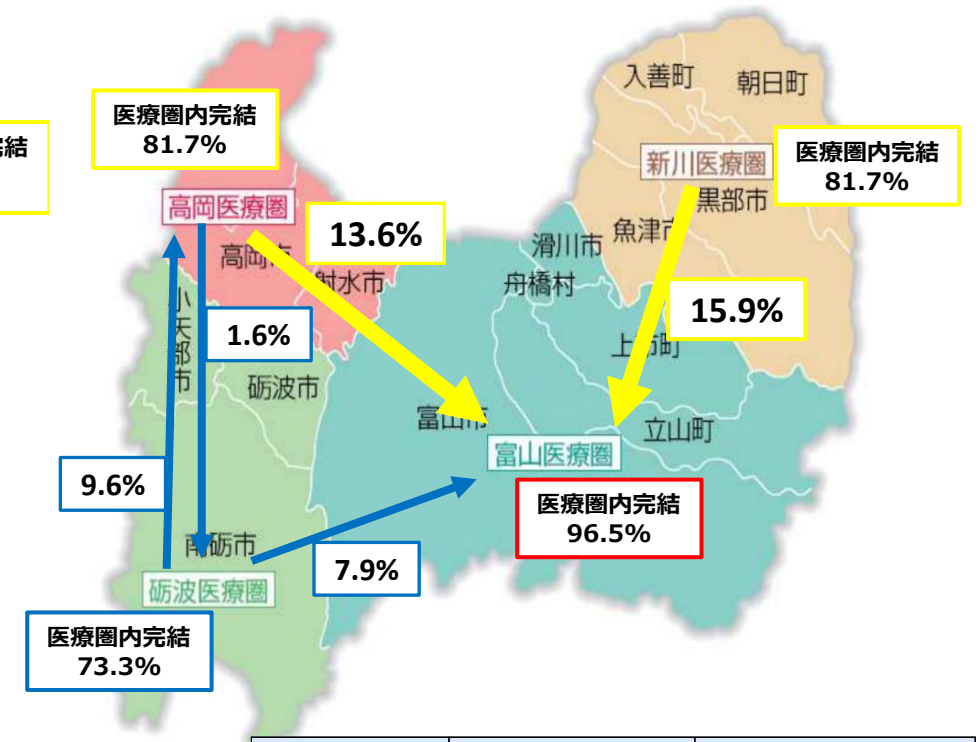
※流出率は患者住所地を基準とした医療機関所在地の構成比。
　流入率は医療機関所在地を基準とした患者住所地の構成比。県外分は各構成比の100%との差として算出

構想区域（医療圏）の完結率と流出・流入

全医療需要



うち 高度急性期・急性期



構想区域名	県外への流出率	県外からの流入率
新川	1.6%	3.5%
富山	2.0%	3.9%
高岡	3.1%	2.2%
砺波	9.1%	1.9%

※矢印の数値は、患者住所地を基準とした構想区域間の流出率

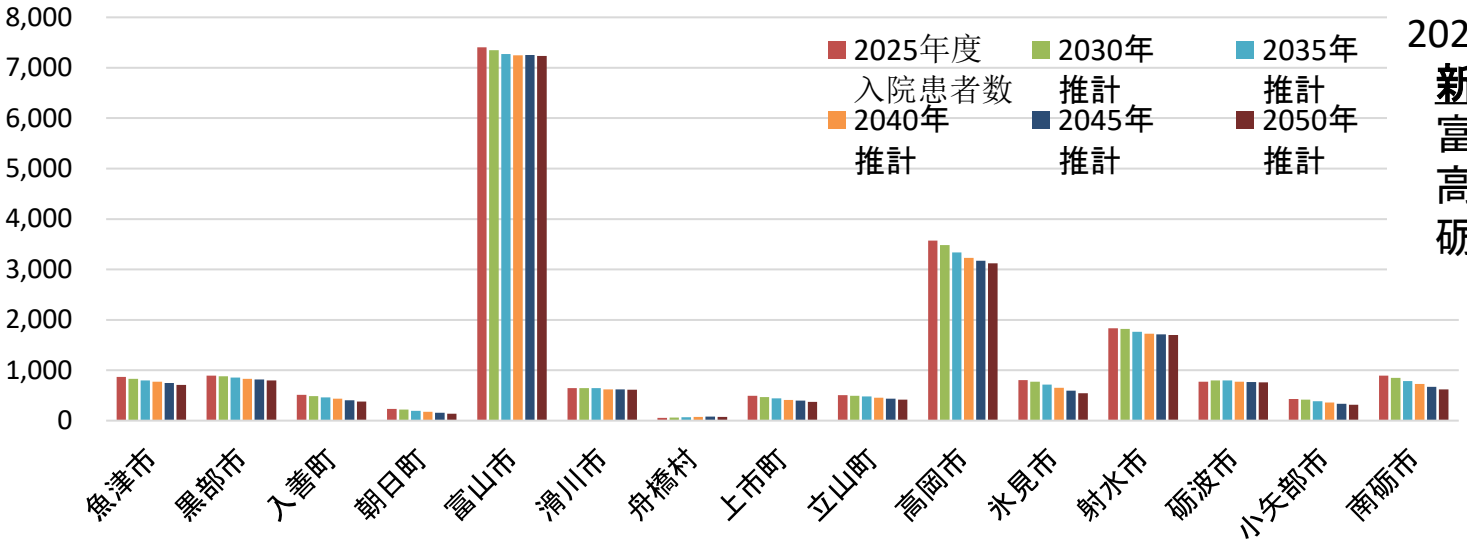
全医療需要：県内の構想区域間患者移動を地図で表示
高度急性期・急性期：県内の構想区域間患者移動を地図で表示し、県外との流出入率を表で併記

Ⅲ.患者移動からみた構想区域（医療圏）の医療提供状況

- 新川圏域は全医療需要、高度急性期・急性期ともに完結率は80％台であり、いずれも入院患者の一部を富山圏域に依存している。
- 患者流出入調整係数では、富山圏域は流入超過となっている一方、新川・高岡・砺波圏域では流出超過となっている。
- 高度急性期・急性期では、新川圏域から富山圏域への流出率が15％を超えている。また、県外からの流入率は富山圏域に次いで3.5%となっている。新川圏域の県外への流出率は、1.6％と県内4圏域では最も低く、富山圏域と新川圏域内でほぼ完結している。

Ⅳ．疾病からみた**入院**患者移動と圏域別将来需要（DPCデータ）

①がん（C00-C97）全数の将来推計

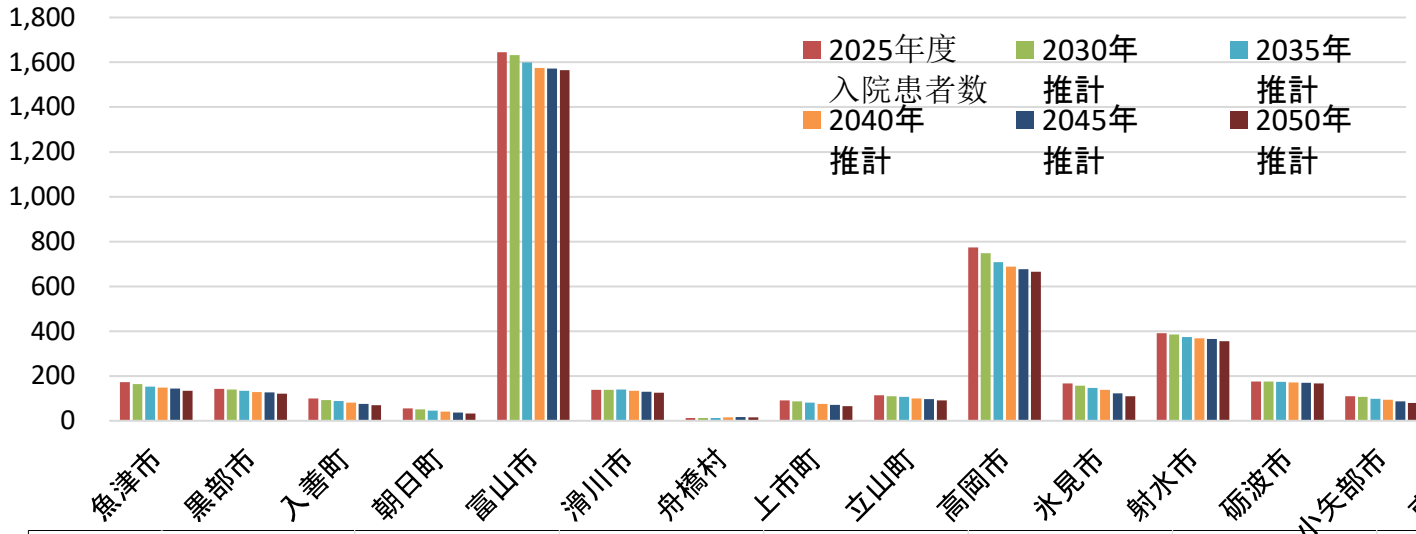


2025年→2040年

新川医療圏	**▲11.6%**
富山医療圏	▲3.3%
高岡医療圏	▲ 9.7%
砺波医療圏	▲11.1%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	866	832	797	775	748	707	-10.5%
	黒部市	896	881	856	832	819	796	-7.1%
	入善町	511	484	460	433	405	376	-15.3%
	朝日町	235	219	197	177	156	138	-24.9%
	新川圏域計	2,508	2,416	2,309	2,217	2,128	2,017	-11.6%
富山	富山市	7,408	7,351	7,275	7,247	7,255	7,234	-2.2%
	滑川市	648	645	643	622	617	617	-4.1%
	舟橋村	58	61	69	72	81	71	24.7%
	上市町	492	470	445	413	397	375	-16.0%
	立山町	507	496	483	455	439	415	-10.3%
	富山圏域計	9,113	9,022	8,914	8,809	8,790	8,712	-3.3%
高岡	高岡市	3,569	3,480	3,338	3,230	3,170	3,121	-9.5%
	氷見市	806	771	713	652	596	544	-19.1%
	射水市	1,834	1,821	1,760	1,723	1,714	1,700	-6.1%
	高岡圏域計	6,209	6,072	5,811	5,605	5,480	5,366	-9.7%
砺波	砺波市	775	798	799	774	763	761	-0.1%
	小矢部市	432	415	387	361	333	313	-16.5%
	南砺市	892	846	786	731	674	621	-18.1%
	砺波圏域計	2,099	2,059	1,972	1,866	1,770	1,696	-11.1%
	県総計	19,929	19,569	19,006	18,497	18,168	17,790	-7.2%

①がん（C00-C97）外科的手術あり 将来推計



2025年→2040年

新川医療圏　▲15.2%

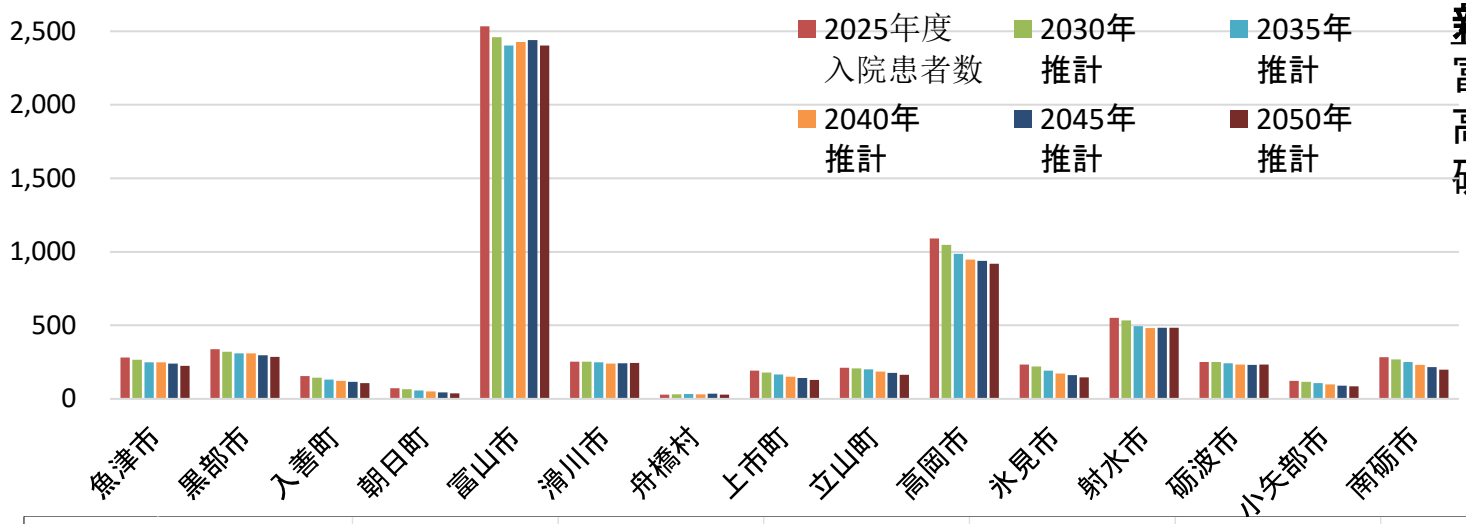
富山医療圏　▲5.0%

高岡医療圏　▲10.3%

砺波医療圏　▲11.3%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度 入院患者数	2030年 推計	2035年 推計	2040年 推計	2045年 推計	2050年 推計	患者数 2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	172	163	153	148	143	134	-13.9%
	黒部市	142	140	134	129	126	121	-9.5%
	入善町	99	92	89	81	75	70	-18.6%
	朝日町	56	51	46	41	36	32	-27.4%
	新川圏域計	469	447	421	398	381	358	-15.2%
富山	富山市	1,645	1,631	1,599	1,576	1,571	1,566	-4.2%
	滑川市	138	138	139	133	129	126	-3.3%
	舟橋村	12	12	13	15	16	15	24.6%
	上市町	91	86	82	75	71	66	-17.6%
	立山町	114	109	106	100	97	91	-12.0%
	富山圏域計	2,000	1,977	1,939	1,899	1,885	1,863	-5.0%
高岡	高岡市	774	749	708	689	676	666	-11.0%
	氷見市	166	157	147	138	123	110	-17.2%
	射水市	391	385	374	368	365	355	-5.8%
	高岡圏域計	1,331	1,291	1,229	1,194	1,164	1,130	-10.3%
砺波	砺波市	175	175	174	171	170	167	-2.1%
	小矢部市	109	106	98	94	86	80	-13.8%
	南砺市	178	169	154	145	129	119	-18.7%
	砺波圏域計	462	450	426	410	385	366	-11.3%
	県総計	4,262	4,166	4,016	3,901	3,815	3,717	-8.5%

①がん（C00-C97）化学療法あり 将来推計



2025年→2040年

新川医療圏　▲13.5%

富山医療圏　▲ 5.8%

高岡医療圏　▲ 14.5%

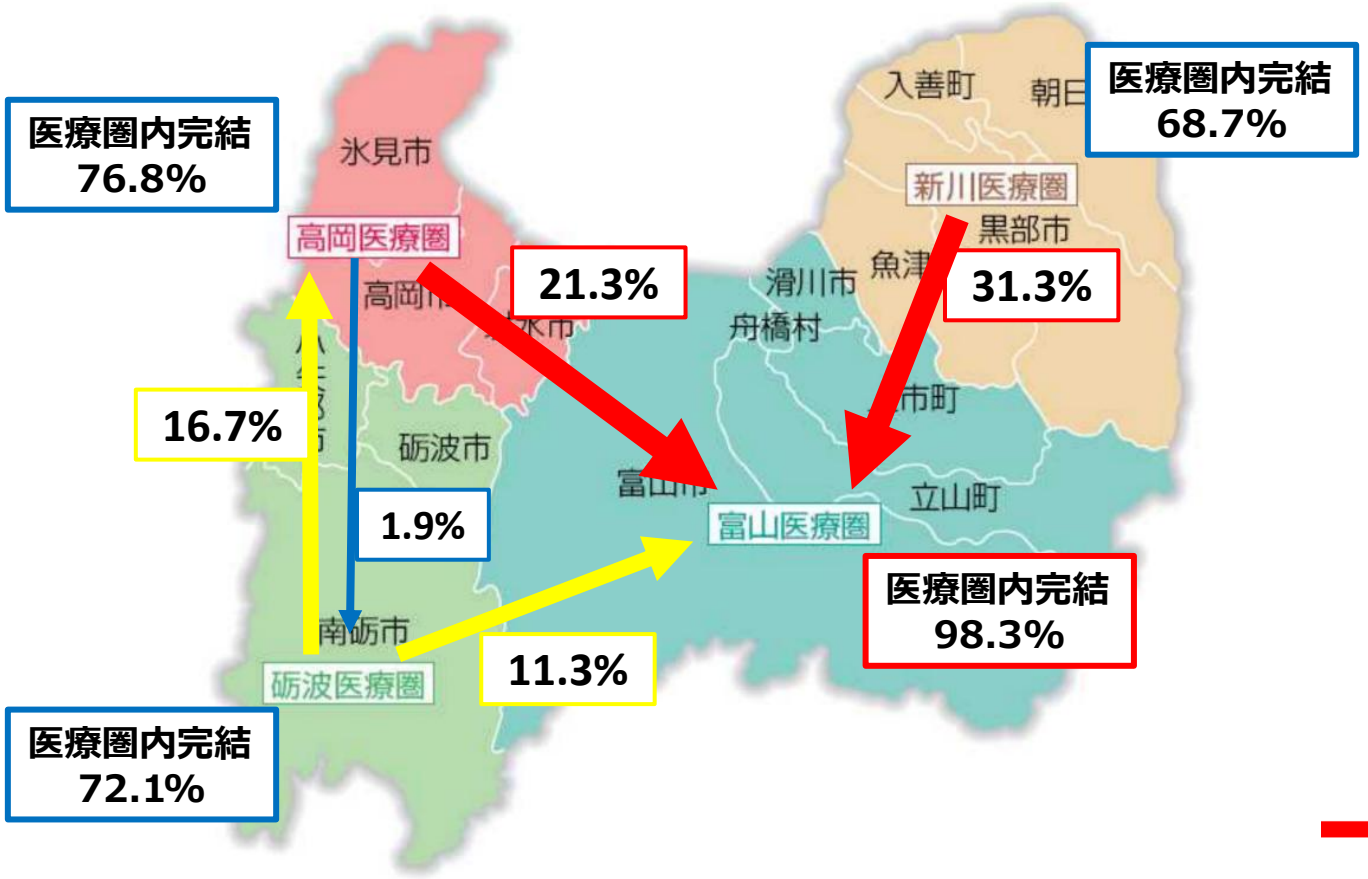
砺波医療圏　▲14.2%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	282	266	249	249	240	225	-11.5%
	黒部市	337	320	310	309	297	286	-8.4%
	入善町	154	143	131	122	115	107	-20.8%
	朝日町	73	65	57	51	45	38	-29.8%
	新川圏域計	846	795	747	731	698	656	-13.5%
富山	富山市	2,533	2,460	2,403	2,427	2,441	2,403	-4.2%
	滑川市	254	252	249	239	243	244	-5.9%
	舟橋村	28	30	33	32	35	29	13.2%
	上市町	193	179	166	150	142	129	-22.1%
	立山町	212	206	201	187	178	165	-12.0%
	富山圏域計	3,220	3,128	3,051	3,034	3,037	2,970	-5.8%
高岡	高岡市	1,091	1,048	987	948	938	918	-13.1%
	氷見市	234	220	192	173	161	147	-26.1%
	射水市	550	533	495	482	484	484	-12.4%
	高岡圏域計	1,875	1,801	1,675	1,603	1,584	1,550	-14.5%
砺波	砺波市	251	250	242	232	232	233	-7.4%
	小矢部市	123	115	108	99	90	86	-19.5%
	南砺市	283	269	250	232	217	199	-18.0%
	砺波圏域計	657	635	600	563	538	517	-14.2%
	県総計	6,598	6,358	6,073	5,932	5,857	5,693	-10.1%

①がん（C00-C97）外科的手術あり 市町村間移動

患者居住地		施設所在地															総計
		新川				富山					高岡			砺波			
		魚津市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	滑川市	舟橋村	上市町	立山町	高岡市	氷見市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市	
新川	魚津市	59	52			60	1										172
	黒部市	1	104		1	36											142
	入善町	1	62		6	30											99
	朝日町		22		14	20											56
富山	富山市					1,627	3				3		12				1,645
	滑川市	8	8			101	19		2								138
	舟橋村					12											12
	上市町	1				79			9				2				91
	立山町					109	1		4								114
高岡	高岡市					106					632	1	10	23	2		774
	氷見市					16					122	27	1				166
	射水市					162					125		104				391
砺波	砺波市					18					22		1	129	4	1	175
	小矢部市					12					28			44	25		109
	南砺市					22					26			89	4	37	178
県外		1	22		6	159						7	3			2	200
総計		71	270	0	27	2,569	24	0	15	0	958	35	133	285	35	40	4,462

①がん（C00-C97）外科的手術あり 医療圏間移動

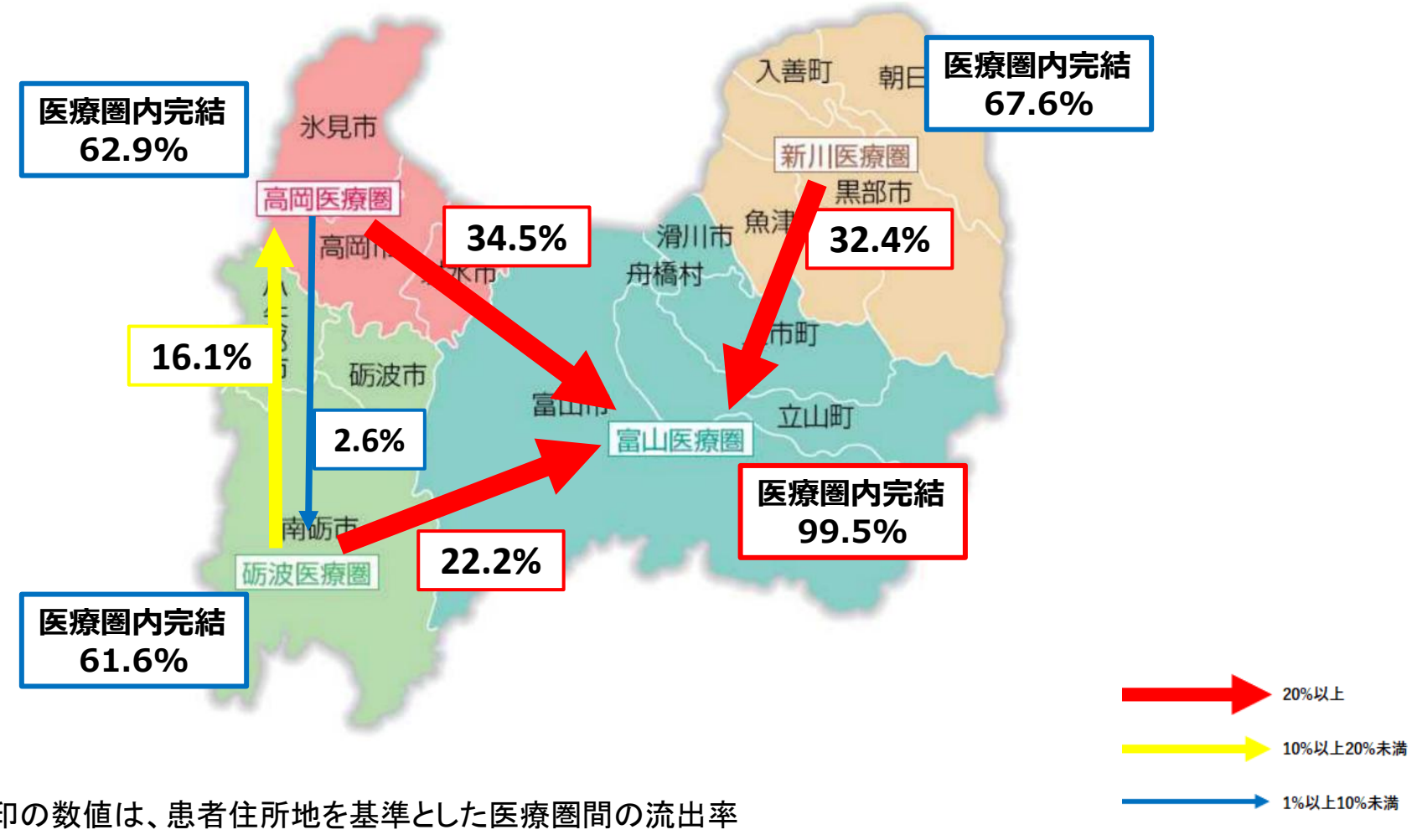


※矢印の数値は、患者住所地を基準とした医療圏間の流出率

①がん（C00-C97）化学療法あり 市町村間移動

患者居住地		施設所在地															総計
		新川				富山					高岡			砺波			
		魚津市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	滑川市	舟橋村	上市町	立山町	高岡市	氷見市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市	
新川	魚津市	58	111			113											282
	黒部市	1	225			111											337
	入善町	4	116		1	33											154
	朝日町		35		21	17											73
富山	富山市					2,522	6				3		2				2,533
	滑川市	1	3			195	51		4								254
	舟橋村					27	1										28
	上市町					174			19								193
	立山町					190			15	1	6						212
高岡	高岡市					257					783		3	39	8	1	1,091
	氷見市					49					140	45					234
	射水市					341					146		63				550
砺波	砺波市					67					41			126	5	12	251
	小矢部市					29					30			46	10	8	123
	南砺市					50					35			70	2	126	283
県外			17		2	276						3		7			305
総計		64	507	0	24	4,451	58	0	38	1	1,184	48	68	288	25	147	6,903

①がん（C00-C97）化学療法あり 医療圏間移動

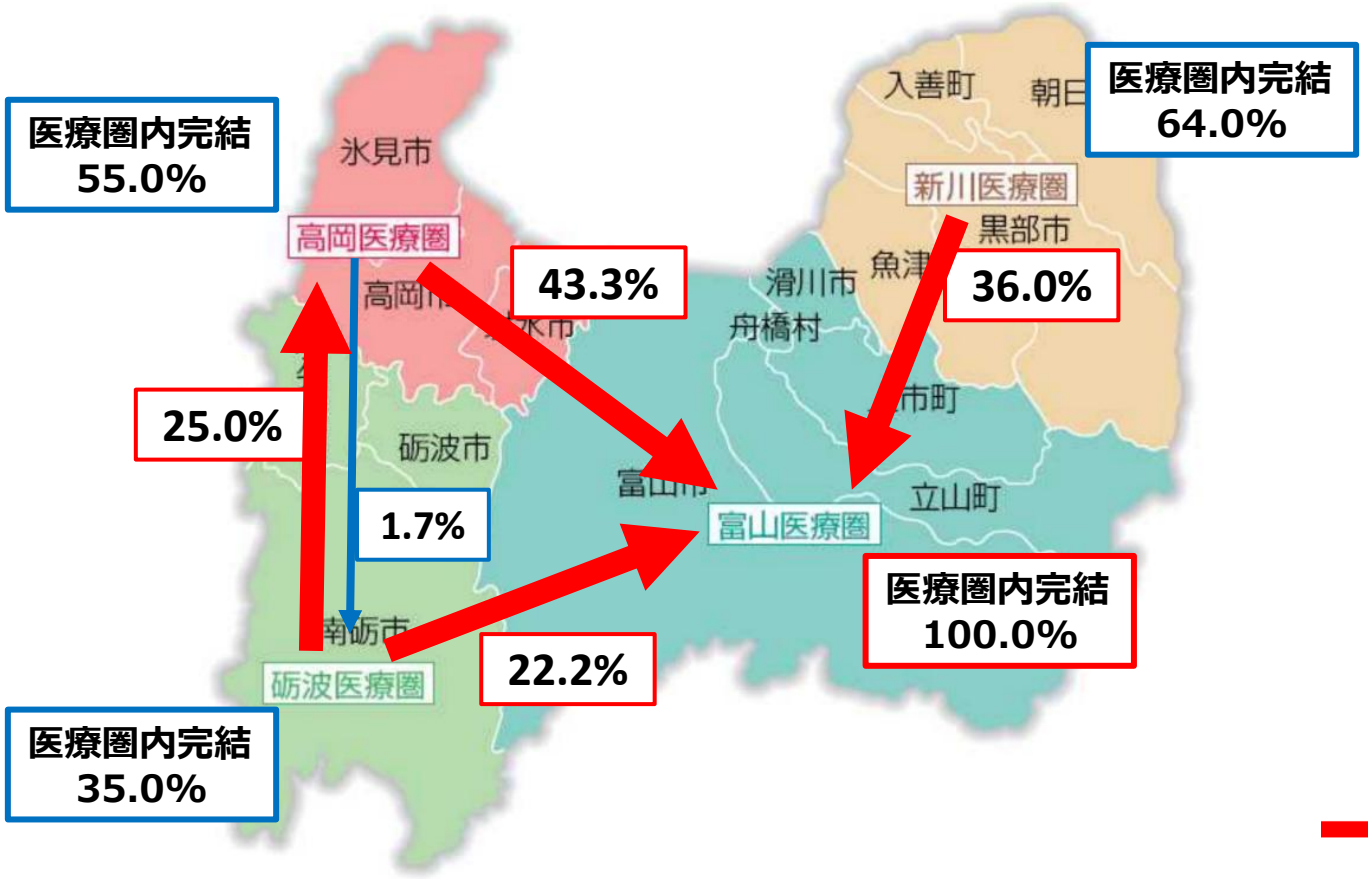


※矢印の数値は、患者住所地を基準とした医療圏間の流出率

①がん（C00-C97）放射線療法あり 市町村間移動

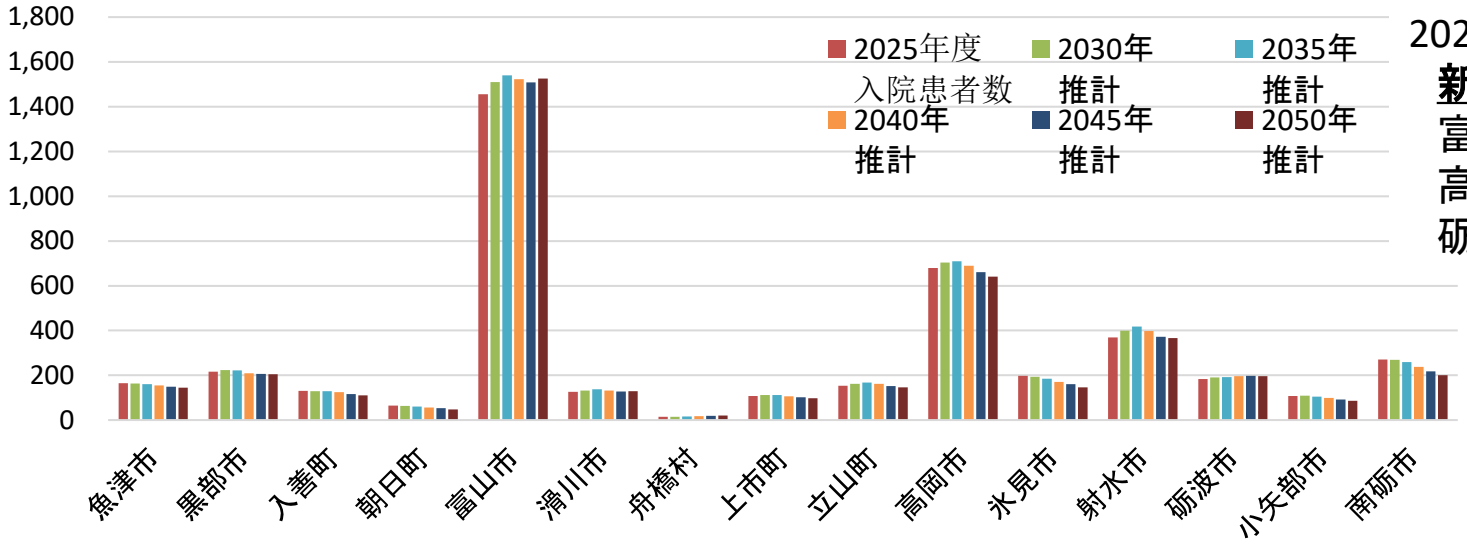
患者居住地		施設所在地															総計
		新川				富山					高岡			砺波			
		魚津市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	滑川市	舟橋村	上市町	立山町	高岡市	氷見市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市	
新川	魚津市	58	111			113											282
	黒部市	1	225			111											337
	入善町	4	116		1	33											154
	朝日町		35		21	17											73
富山	富山市					2,522	6				3		2				2,533
	滑川市	1	3			195	51		4								254
	舟橋村					27	1										28
	上市町					174			19								193
	立山町					190			15	1	6						212
高岡	高岡市					257					783		3	39	8	1	1,091
	氷見市					49					140	45					234
	射水市					341					146		63				550
砺波	砺波市					67					41			126	5	12	251
	小矢部市					29					30			46	10	8	123
	南砺市					50					35			70	2	126	283
県外			17		2	276						3		7			305
総計		64	507	0	24	4,451	58	0	38	1	1,184	48	68	288	25	147	6,903

①がん（C00-C97）放射線療法あり 医療圏間移動



※矢印の数値は、患者住所地を基準とした医療圏間の流出率

②脳卒中（I60-I63）全数の将来推計



2025年→2040年

新川医療圏　▲5.5%

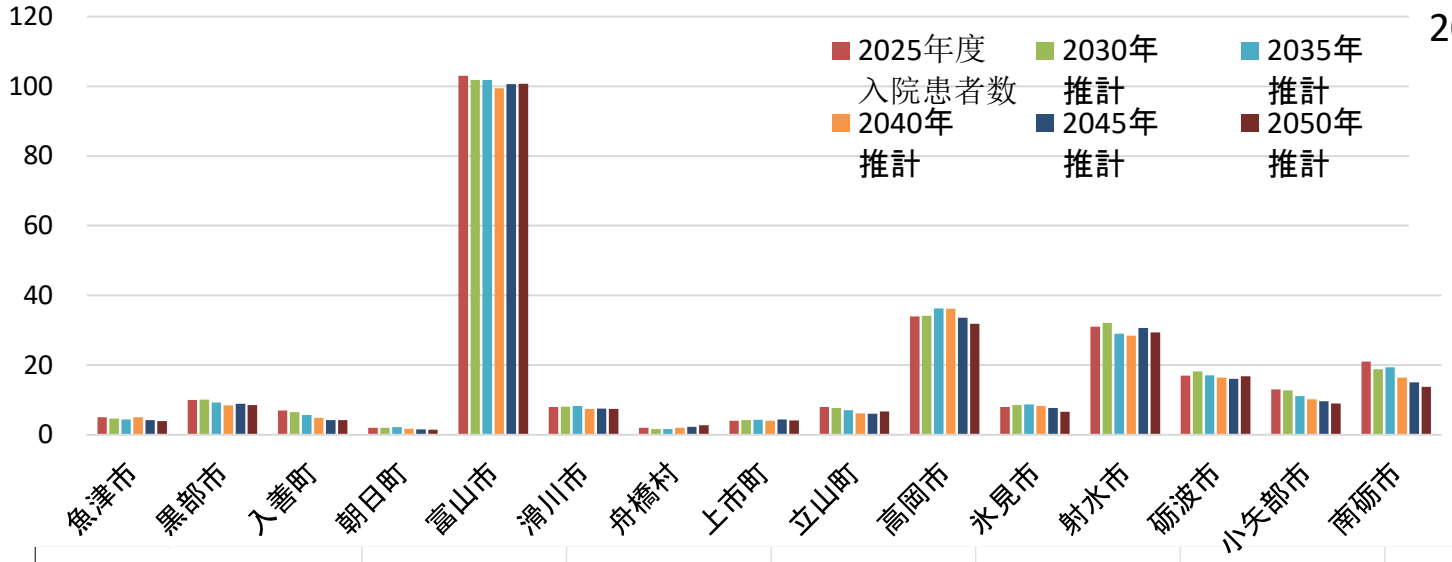
富山医療圏　4.5%

高岡医療圏　0.9%

砺波医療圏　▲4.7%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数 2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	165	164	161	155	149	144	-6.1%
	黒部市	216	223	221	209	206	205	-3.4%
	入善町	131	130	130	125	116	110	-4.4%
	朝日町	65	64	61	57	53	47	-13.1%
	新川圏域計	577	581	572	545	523	506	-5.5%
富山	富山市	1,456	1,510	1,540	1,522	1,508	1,525	4.5%
	滑川市	126	132	137	132	128	129	4.5%
	舟橋村	14	14	16	18	19	20	25.8%
	上市町	107	111	111	107	102	97	-0.4%
	立山町	153	162	167	162	152	146	6.0%
	富山圏域計	1,856	1,930	1,971	1,940	1,909	1,917	4.5%
高岡	高岡市	679	703	710	689	661	641	1.5%
	氷見市	197	194	185	170	160	146	-13.8%
	射水市	369	399	417	398	373	366	7.7%
	高岡圏域計	1,245	1,297	1,312	1,256	1,193	1,153	0.9%
砺波	砺波市	183	191	192	196	198	197	7.2%
	小矢部市	107	109	105	99	92	86	-7.6%
	南砺市	270	269	259	238	217	201	-11.7%
	砺波圏域計	560	569	556	533	507	483	-4.7%
	県総計	4,238	4,376	4,413	4,275	4,133	4,060	0.9%

②脳卒中（I60-I63）急性期治療※あり 将来推計



2025年→2040年

新川医療圏	▲16.2%
富山医療圏	▲4.8%
高岡医療圏	▲0.3%
砺波医療圏	▲15.6%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	5	5	4	5	4	4	1.3%
	黒部市	10	10	9	8	9	9	-15.5%
	入善町	7	6	6	5	4	4	-30.6%
	朝日町	2	2	2	2	2	1	-12.6%
	新川圏域計	24	23	22	20	19	18	-16.2%
富山	富山市	103	102	102	99	101	101	-3.4%
	滑川市	8	8	8	7	8	7	-7.5%
	舟橋村	2	2	2	2	2	3	-0.7%
	上市町	4	4	4	4	4	4	-0.3%
	立山町	8	8	7	6	6	7	-23.4%
	富山圏域計	125	123	123	119	121	122	-4.8%
高岡	高岡市	34	34	36	36	34	32	6.3%
	氷見市	8	8	9	8	8	7	2.9%
	射水市	31	32	29	28	31	29	-8.3%
	高岡圏域計	73	75	74	73	72	68	-0.3%
砺波	砺波市	17	18	17	16	16	17	-3.2%
	小矢部市	13	13	11	10	10	9	-21.6%
	南砺市	21	19	19	16	15	14	-21.9%
	砺波圏域計	51	50	48	43	41	40	-15.6%
	県総計	273	271	266	255	252	247	-6.6%

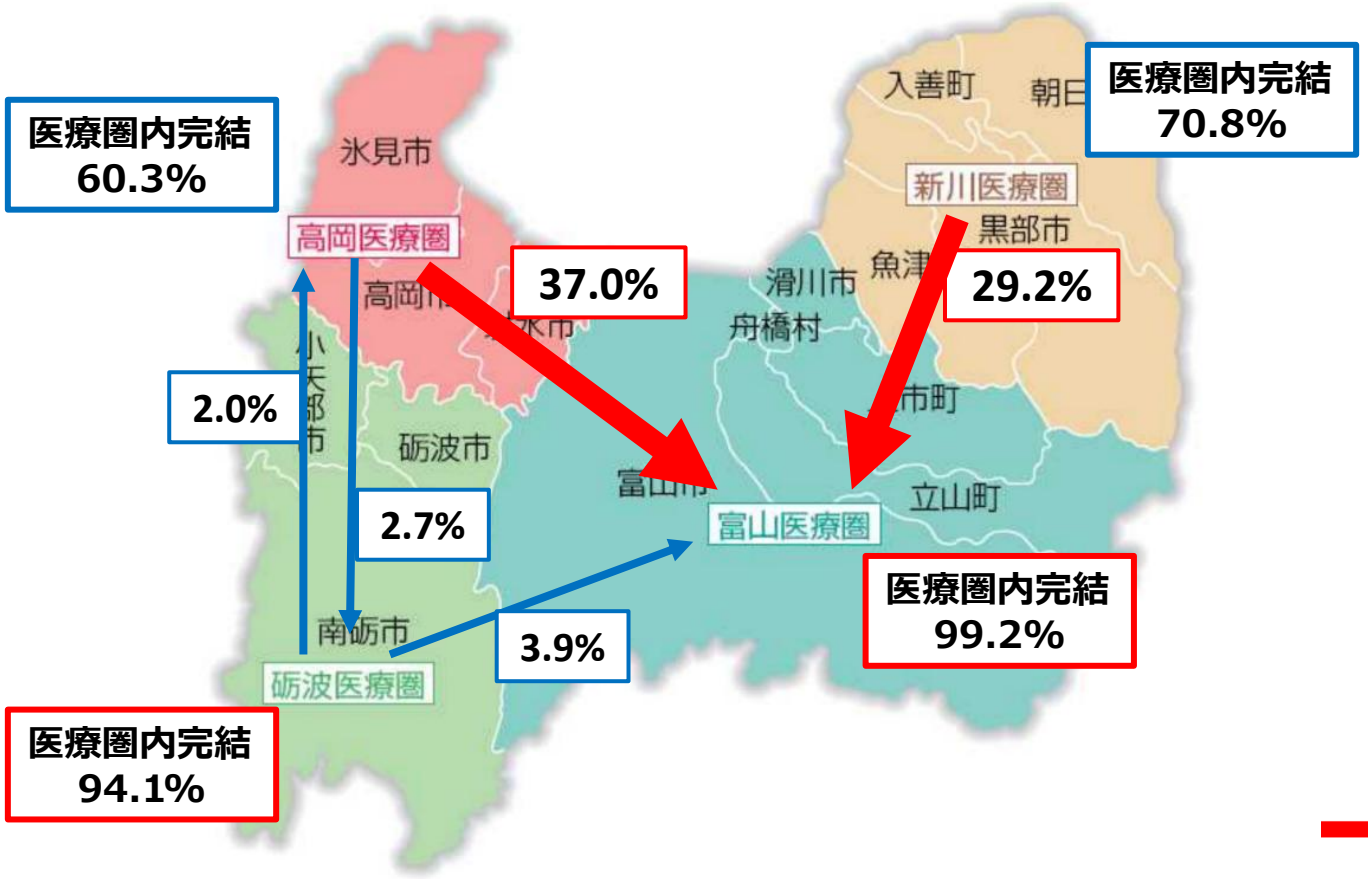
※急性期治療は頭頚部または血管の全身麻酔下手術、t-PA、経皮的脳血栓回収術のいずれかとする

②脳卒中（I60-I63）急性期治療※あり　市町村間移動

患者居住地		施設所在地															総計
		新川				富山					高岡			砺波			
		魚津市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	滑川市	舟橋村	上市町	立山町	高岡市	氷見市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市	
新川	魚津市	4	1														5
	黒部市	2	4			4											10
	入善町	1	3			3											7
	朝日町		1		1												2
富山	富山市	1				102											103
	滑川市					8											8
	舟橋村					2											2
	上市町					4											4
	立山町					8											8
高岡	高岡市					9					23			2			34
	氷見市					2					6						8
	射水市					16					15						31
砺波	砺波市					1								16			17
	小矢部市										1			12			13
	南砺市					1								20			21
県外						7					2			2			11
総計		8	9	0	1	167	0	0	0	0	47	0	0	52	0	0	284

※急性期治療は頭頚部または血管の全身麻酔下手術、t-PA、経皮的脳血栓回収術のいずれかとする

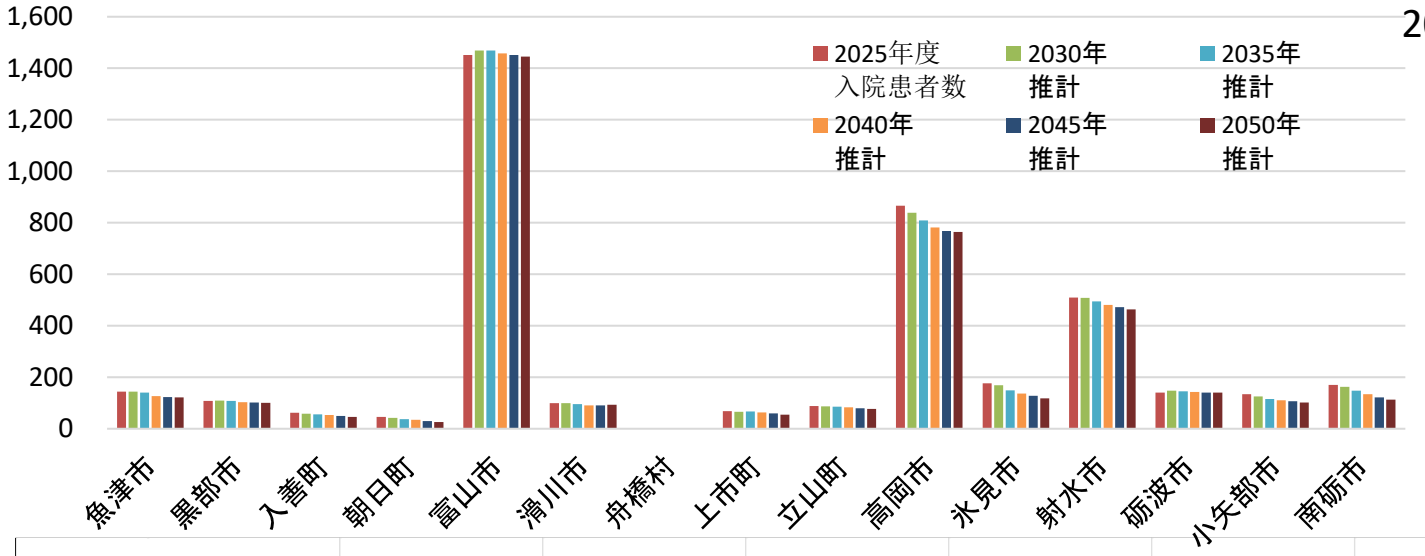
②脳卒中（I60-I63）急性期治療※あり 医療圏間移動



※矢印の数値は、患者住所地を基準とした医療圏間の流出率

※急性期治療は頭頸部または血管の全身麻酔下手術、t-PA、経皮的脳血栓回収術のいずれかとする

③虚血性心疾患（I20-I25）全数の将来推計



2025年→2040年

新川医療圏　▲11.6%

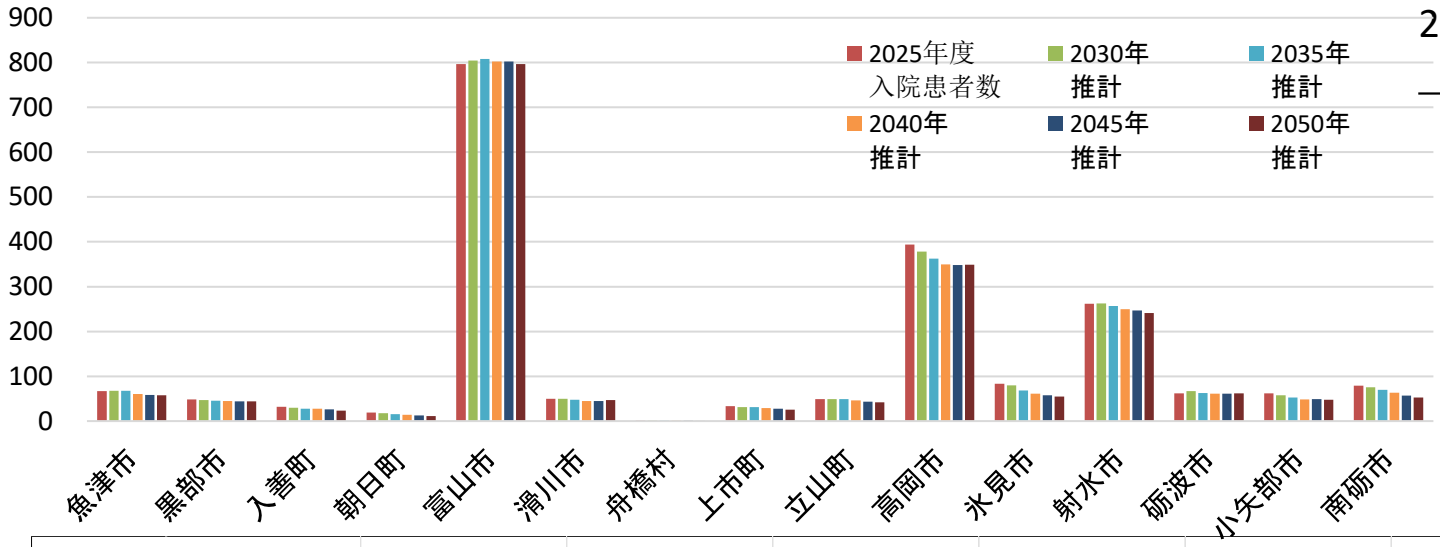
富山医療圏　▲0.7%

高岡医療圏　▲9.9%

砺波医療圏　▲12.6%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	144	144	140	127	122	122	-11.7%
	黒部市	108	110	109	104	102	100	-4.1%
	入善町	62	59	56	53	50	46	-14.1%
	朝日町	46	42	37	34	30	26	-25.5%
	新川圏域計	360	354	342	318	304	294	-11.6%
富山	富山市	1,452	1,468	1,469	1,457	1,451	1,445	0.4%
	滑川市	99	99	95	91	91	93	-8.5%
	舟橋村	2	2	3	2	2	2	0.5%
	上市町	68	66	67	64	60	55	-6.5%
	立山町	88	87	86	83	80	77	-5.6%
	富山圏域計	1,709	1,723	1,719	1,697	1,683	1,672	-0.7%
高岡	高岡市	866	839	809	781	769	765	-9.8%
	氷見市	177	169	150	136	128	118	-22.9%
	射水市	509	508	494	480	473	464	-5.6%
	高岡圏域計	1,552	1,515	1,453	1,398	1,369	1,347	-9.9%
砺波	砺波市	140	147	145	143	140	141	2.3%
	小矢部市	134	125	115	110	107	102	-17.5%
	南砺市	170	163	148	134	122	113	-20.9%
	砺波圏域計	444	436	409	388	369	355	-12.6%
	県総計	4,065	4,028	3,923	3,801	3,726	3,668	-6.5%

③虚血性心疾患（I20-I25）
急性期治療※あり　将来推計



2025年→2040年

新川医療圏	**▲11.7%**
富山医療圏	▲0.7%
高岡医療圏	▲10.7%
砺波医療圏	▲14.9%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	67	68	68	61	58	58	-9.7%
	黒部市	48	47	46	45	44	44	-7.1%
	入善町	32	30	28	27	26	23	-14.1%
	朝日町	19	17	16	14	12	11	-25.9%
	新川圏域計	166	162	157	147	141	136	-11.7%
富山	富山市	797	805	808	802	803	797	0.7%
	滑川市	50	50	48	45	45	47	-10.6%
	舟橋村	1	1	1	1	1	1	-1.9%
	上市町	33	31	31	29	27	25	-11.6%
	立山町	49	49	49	46	43	42	-5.6%
	富山圏域計	930	935	937	924	919	912	-0.7%
高岡	高岡市	394	378	363	350	349	349	-11.2%
	氷見市	83	80	68	61	58	55	-26.7%
	射水市	262	263	257	250	247	241	-4.7%
	高岡圏域計	739	721	688	660	653	645	-10.7%
砺波	砺波市	62	67	63	61	61	62	-1.5%
	小矢部市	62	58	52	48	49	47	-22.0%
	南砺市	79	75	70	63	57	53	-19.8%
	砺波圏域計	203	200	185	173	166	162	-14.9%
	県総計	2,038	2,018	1,967	1,903	1,880	1,855	-6.6%

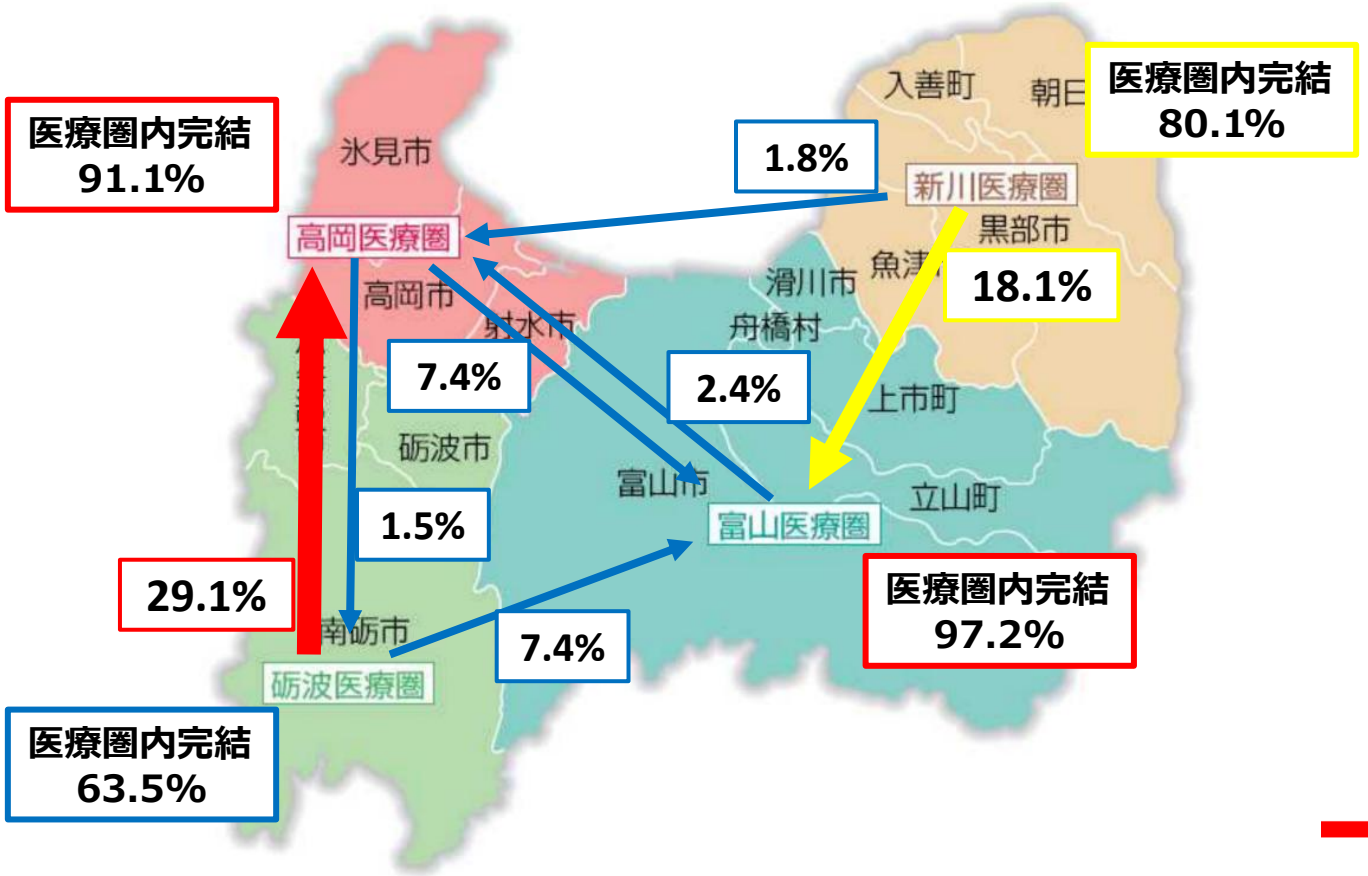
※急性期治療は経皮的冠動脈手術（心臓カテーテル治療）または外科的心臓手術のいずれかとする

③虚血性心疾患（I20-I25）
急性期治療※あり　市町村間移動

患者居住地		施設所在地															総計
		新川				富山					高岡			砺波			
		魚津市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	滑川市	舟橋村	上市町	立山町	高岡市	氷見市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市	
新川	魚津市	43	9			12					3						67
	黒部市		39			9											48
	入善町	2	21		2	7											32
	朝日町		15		2	2											19
富山	富山市					774					22			1			797
	滑川市	3				47											50
	舟橋村					1											1
	上市町					33											33
	立山町					49											49
高岡	高岡市					15					366		2	11			394
	氷見市					11					56	15	1				83
	射水市					29					222		11				262
砺波	砺波市					1					4			57			62
	小矢部市					2					39			21			62
	南砺市					12					15		1	51			79
県外		1	3			28					10			3			45
総計		49	87	0	4	1,032	0	0	0	0	737	15	15	144	0	0	2,083

※急性期治療は経皮的冠動脈手術（心臓カテーテル治療）または外科的心臓手術のいずれかとする

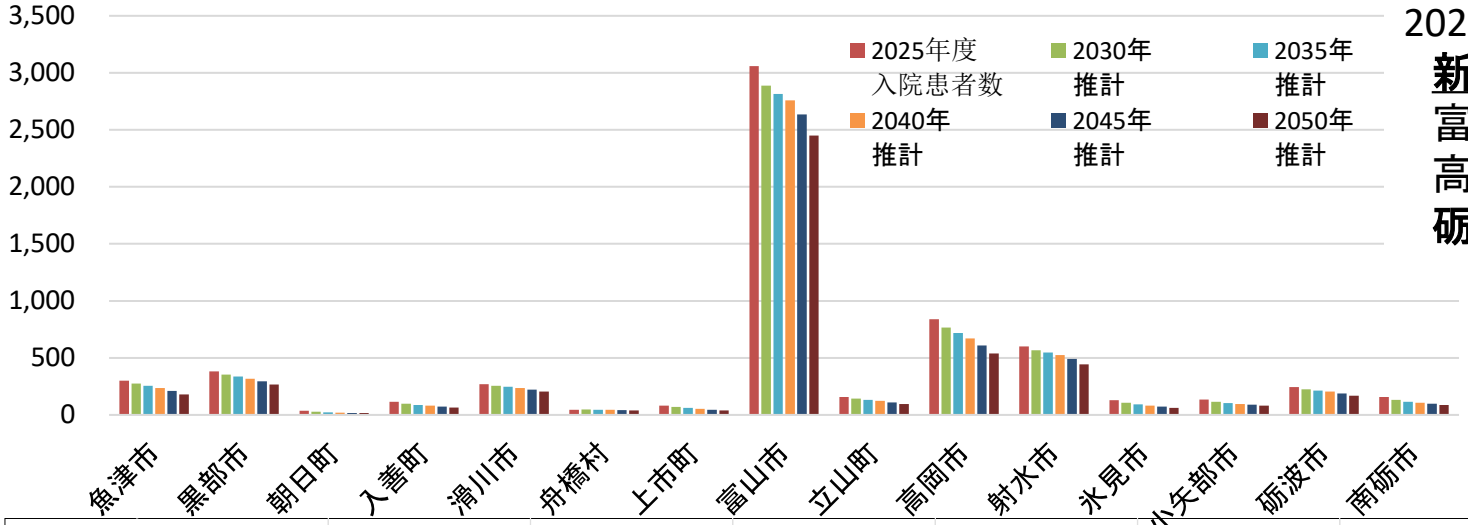
③虚血性心疾患（I20-I25）
急性期治療※あり　医療圏間移動



※矢印の数値は、患者住所地を基準とした医療圏間の流出率

※急性期治療は経皮的冠動脈手術（心臓カテーテル治療）または外科的心臓手術のいずれかとする

④周産期・小児15歳未満入院患者全数の将来推計



2025年→2040年

新川医療圏　▲21.4%

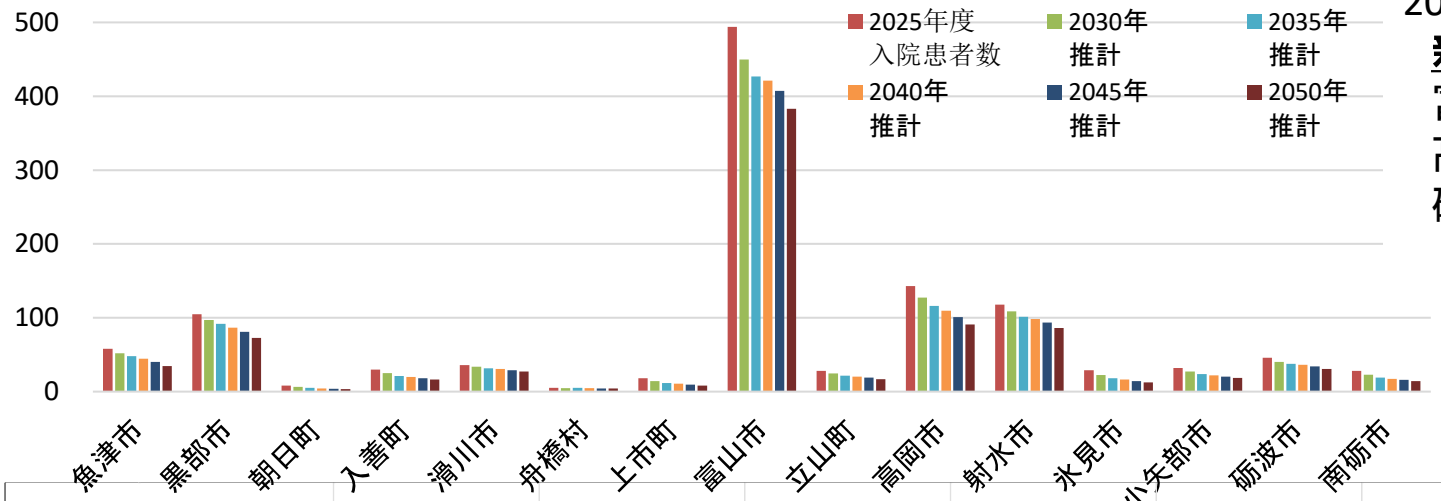
富山医療圏　▲11.0%

高岡医療圏　▲18.5%

砺波医療圏　▲24.1%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	300	274	257	235	210	180	-21.5%
	黒部市	382	355	336	318	296	265	-16.8%
	入善町	116	99	86	81	74	65	-30.1%
	朝日町	35	29	24	20	18	15	-41.8%
	新川圏域計	833	757	702	655	598	526	-21.4%
富山	富山市	3,059	2,889	2,814	2,759	2,634	2,449	-9.8%
	滑川市	269	256	246	236	222	204	-12.3%
	舟橋村	46	48	46	44	42	39	-3.9%
	上市町	82	70	60	53	46	38	-34.8%
	立山町	157	142	131	123	111	96	-21.5%
	富山圏域計	3,613	3,405	3,298	3,216	3,055	2,826	-11.0%
高岡	高岡市	838	766	717	670	608	540	-20.0%
	氷見市	130	107	91	82	72	61	-37.2%
	射水市	600	568	547	526	490	444	-12.4%
	高岡圏域計	1,568	1,440	1,355	1,278	1,170	1,044	-18.5%
砺波	砺波市	244	225	214	205	189	168	-16.0%
	小矢部市	135	116	104	97	89	81	-28.4%
	南砺市	158	133	115	106	97	87	-33.0%
	砺波圏域計	537	473	433	407	375	336	-24.1%
	県総計	6,551	6,075	5,788	5,556	5,198	4,733	-15.2%

④周産期・小児15歳未満入院患者 全身麻酔手術あり　将来推計



2025年→2040年

新川医療圏　▲22.7%

富山医療圏　▲16.1%

高岡医療圏　▲22.8%

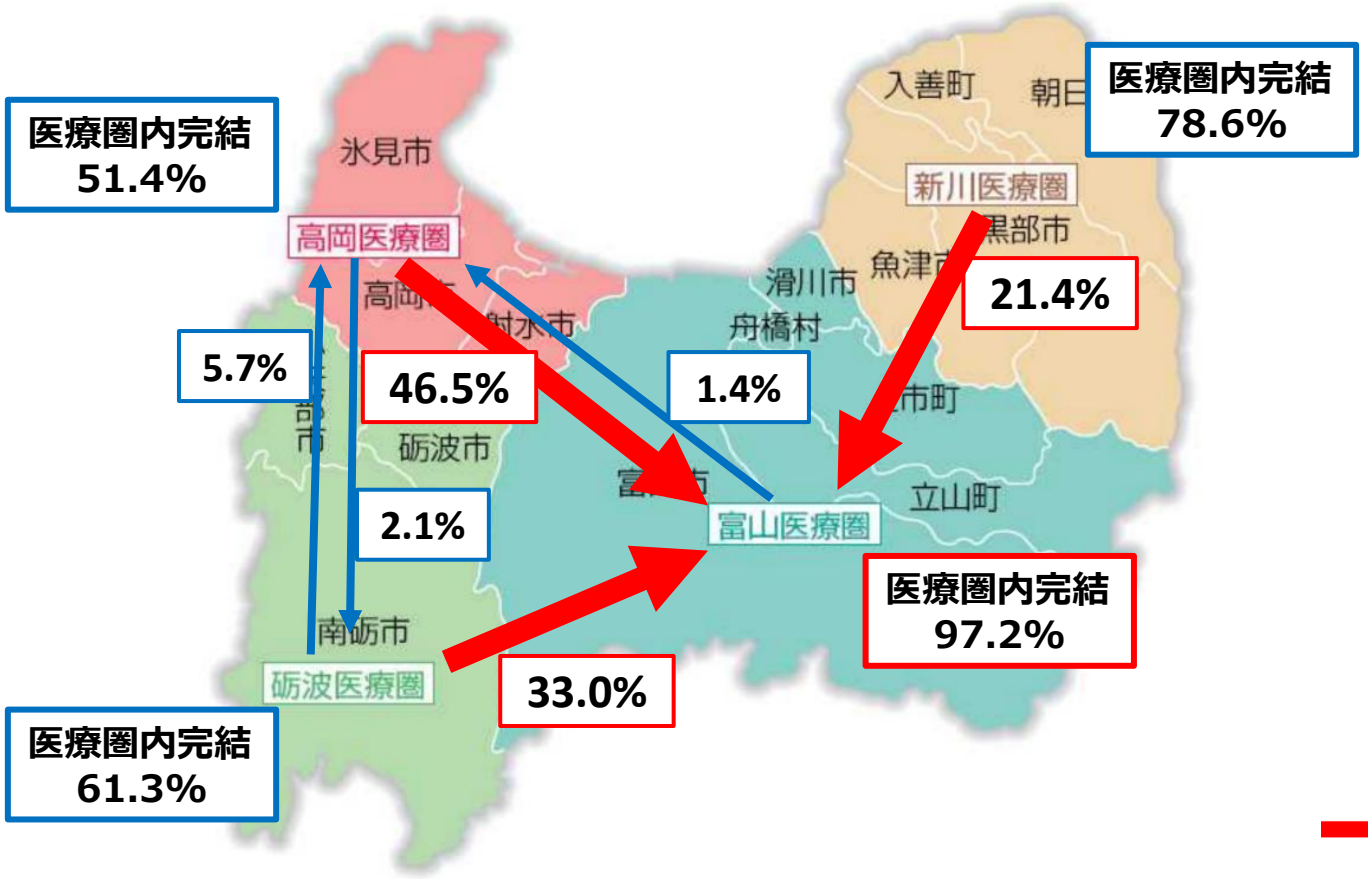
砺波医療圏　▲28.7%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度 入院患者数	2030年 推計	2035年 推計	2040年 推計	2045年 推計	2050年 推計	患者数 2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	58	52	48	45	40	35	-23.2%
	黒部市	105	97	92	87	81	73	-17.4%
	入善町	30	25	21	20	18	16	-34.1%
	朝日町	8	7	5	4	4	3	-44.8%
	新川圏域計	201	181	166	155	143	127	-22.7%
富山	富山市	494	450	427	421	407	383	-14.7%
	滑川市	36	34	32	31	29	27	-15.0%
	舟橋村	5	5	5	5	4	4	-4.5%
	上市町	18	14	12	11	9	8	-41.2%
	立山町	28	25	22	20	19	17	-27.6%
	富山圏域計	581	527	497	487	469	439	-16.1%
高岡	高岡市	143	127	116	109	101	91	-23.5%
	氷見市	29	23	18	16	14	12	-43.9%
	射水市	118	109	101	98	93	86	-16.7%
	高岡圏域計	290	258	236	224	209	189	-22.8%
砺波	砺波市	46	40	37	36	34	31	-21.2%
	小矢部市	32	27	24	22	20	19	-31.4%
	南砺市	28	23	19	17	16	14	-37.9%
	砺波圏域計	106	90	80	76	70	64	-28.7%
	県総計	1,178	1,057	978	942	891	819	-20.0%

④周産期・小児15歳未満入院患者
全身麻酔手術あり　市町村間移動

患者居住地		施設所在地															総計
		新川				富山					高岡			砺波			
		魚津市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	滑川市	舟橋村	上市町	立山町	高岡市	氷見市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市	
新川	魚津市	2	36			20											58
	黒部市		84		3	18											105
	入善町		25		1	4											30
	朝日町		3		4	1											8
富山	富山市					485					2		5	2			494
	滑川市		6			28	2										36
	舟橋村					5											5
	上市町					16			2								18
	立山町					26			1				1				28
高岡	高岡市					65					64		8	6			143
	氷見市					8					10	11					29
	射水市					62					23		33				118
砺波	砺波市					14							3	28	1		46
	小矢部市					13					1		2	14	2		32
	南砺市					8								18		2	28
県外			1		3	65					1		5	4		1	80
総計		2	155	0	11	838	2	0	3	0	101	11	57	72	3	3	1,258

④周産期・小児15歳未満入院患者 全身麻酔手術あり　医療圏間移動



※矢印の数値は、患者住所地を基準とした医療圏間の流出率

Ⅳ-1.疾病からみた患者移動と圏域別将来需要（DPCデータ）

がん

- 将来推計では、2040年にかけて新川圏域内すべての市町で患者数の減少が見込まれる。医療圏別では富山圏域の減少率が最も小さく、新川圏域では全数、外科的手術でいずれも10%以上減少し県内で最も減少率が大きい。
- 新川圏域の圏域内完結率は外科的治療は68.7%と他の圏域に比べて低い。化学療法は67. 6%、放射線療法は64.0%の完結率で、流出した入院患者は富山圏域に移動している。

脳卒中

- 新川圏域の急性期治療の患者数は４圏域では最も少ない。さらに将来推計では、2040年にかけて脳卒中の全数は5.5%減少する一方で、急性期治療実施例は16.2%減少し、減少率も大きい。
- 急性期治療実施例では、新川圏域は、70.8%で高岡圏域に次ぐ低い完結率である。特に血栓回収術では、新川、高岡圏域から富山圏域へは半数以上が移動している。

Ⅳ-2.疾病からみた患者移動と圏域別将来需要（DPCデータ）

虚血性心疾患

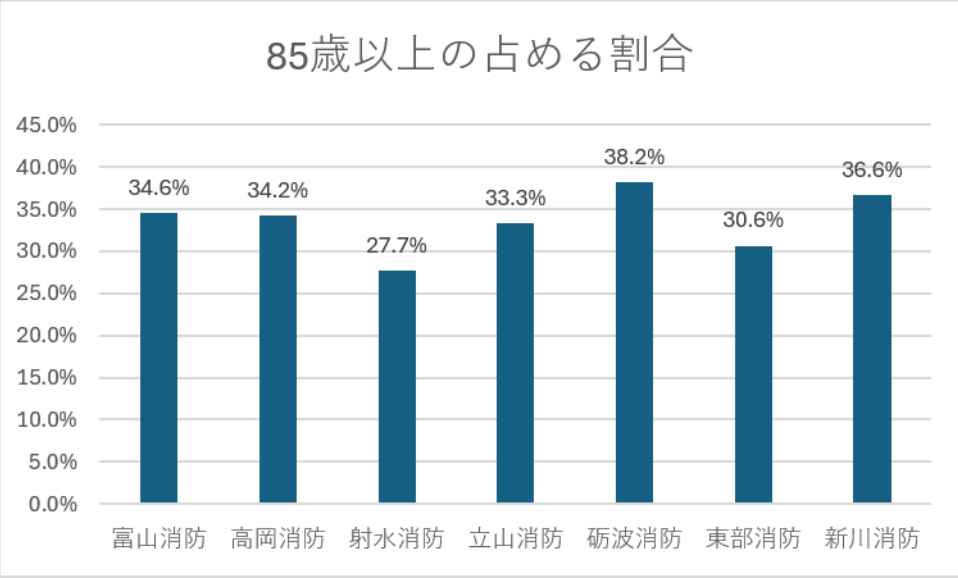
- 新川圏域の2040年までの将来推計では、全数、急性期治療実施例の患者数の増減率はそれぞれ11.6%、11.7%の減少であり、砺波圏域に次いで減少率が大きい。
- 新川圏域の完結率は80.1 %で、18.1%が富山圏域に移動している。外科的冠動脈手術は患者数は少ないが、全症例が富山圏で実施されており、経皮的冠動脈手術も１割以上が富山圏域で実施されている。

周産期・小児

- 将来推計では、患者全数および全身麻酔手術実施例ともに、2040年にかけて全圏域で10%以上の患者数減少が見込まれる。新川圏域は減少率が2割を超える。
- 新川圏域では全身麻酔手術ありの完結率が78.6 %で、2割以上が富山圏域へ移動している。

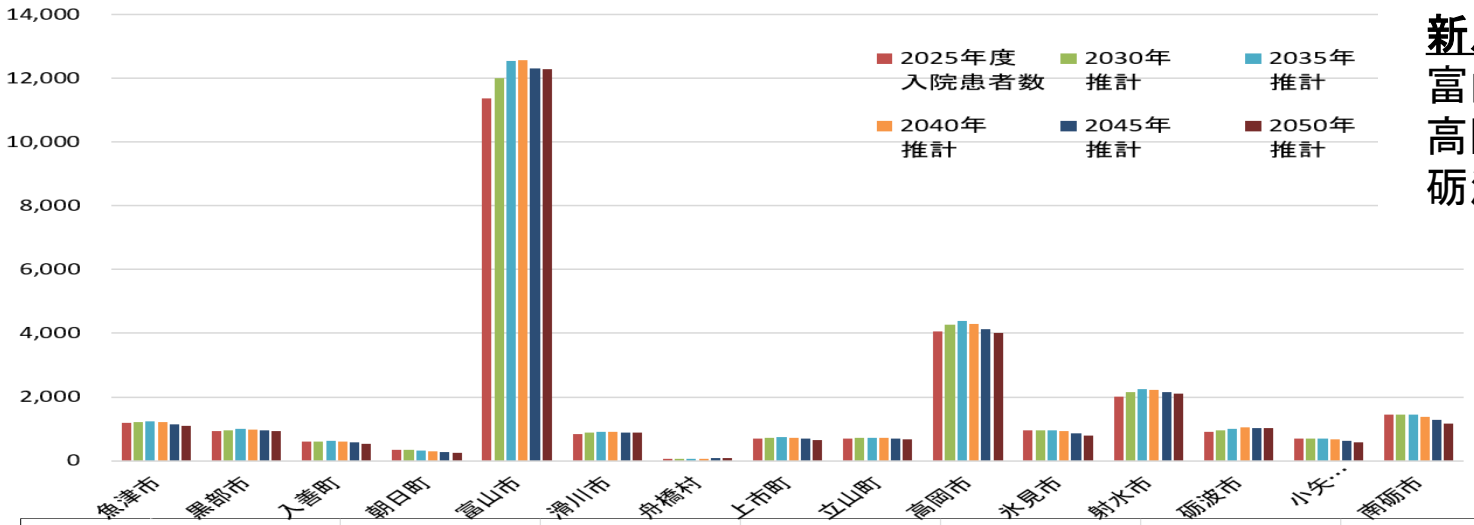
Ⅴ．救急医療からみた急性期医療提供体制（消防データ・DPCデータ）

各消防における年齢階級別救急搬送（2025年度）（消防データ）



年齢階級別	富山消防	高岡消防	射水消防	立山消防	砺波消防	東部消防	新川消防	年齢別総数
0～14歳	398	231	198	11	68	216	93	1,215
	(3.0%)	(3.9%)	(5.0%)	(1.7%)	(2.0%)	(4.8%)	(4.0%)	
15～64歳	2,504	1,029	1,013	137	566	1039	426	6,714
	(18.6%)	(17.2%)	(25.7%)	(21.0%)	(16.8%)	(23.0%)	(18.1%)	
65～74歳	1,790	805	497	92	456	562	277	4,479
	(13.3%)	(13.5%)	(12.6%)	(14.1%)	(13.5%)	(12.5%)	(11.8%)	
75～84歳	4,096	1,861	1,148	195	989	1311	692	10,292
	(30.5%)	(31.2%)	(29.1%)	(29.9%)	(29.4%)	(29.1%)	(29.5%)	
85歳以上	4,642	2,045	1,092	217	1,287	1382	860	11,525
	(34.6%)	(34.2%)	(27.7%)	(33.3%)	(38.2%)	(30.6%)	(36.6%)	
消防別総数	13,430	5,971	3,948	652	3,366	4,510	2,348	34,225

救急搬送入院全数の将来推計（DPCデータ）



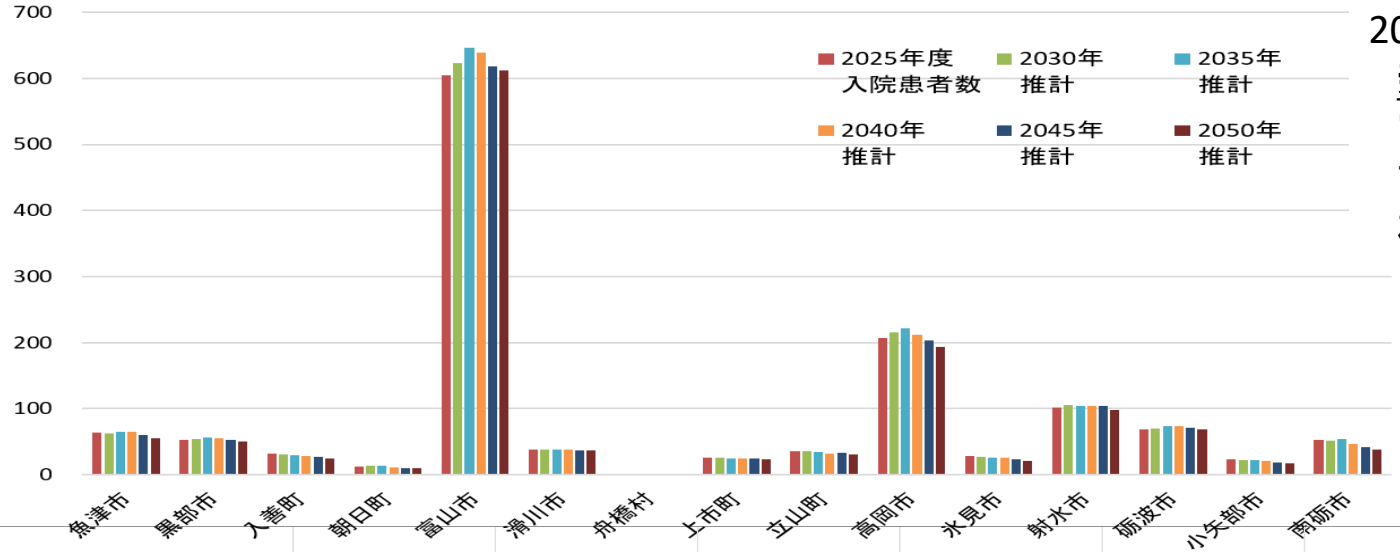
2025年→2040年

新川医療圏	**1.8%**
富山医療圏	9.8%
高岡医療圏	6.0%
砺波医療圏	1.5%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度 入院患者数	2030年 推計	2035年 推計	2040年 推計	2045年 推計	2050年 推計	患者数 2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	1,193	1,219	1,245	1,213	1,134	1,090	1.7%
	黒部市	923	964	998	987	947	932	7.0%
	入善町	597	611	619	610	572	534	2.2%
	朝日町	341	337	326	298	267	241	-12.5%
	新川圏域計	3,054	3,132	3,187	3,109	2,921	2,797	1.8%
富山	富山市	11,353	12,002	12,538	12,550	12,308	12,283	10.5%
	滑川市	850	892	911	902	891	884	6.1%
	舟橋村	62	63	70	75	80	87	20.5%
	上市町	691	721	736	726	692	650	5.1%
	立山町	687	716	732	723	700	668	5.2%
	富山圏域計	13,643	14,394	14,987	14,976	14,670	14,572	9.8%
高岡	高岡市	4,063	4,271	4,380	4,301	4,120	4,001	5.9%
	氷見市	959	964	963	924	856	783	-3.7%
	射水市	2,016	2,156	2,246	2,237	2,162	2,112	10.9%
	高岡圏域計	7,038	7,392	7,588	7,462	7,138	6,896	6.0%
砺波	砺波市	920	963	1,014	1,045	1,028	1,018	13.5%
	小矢部市	687	695	706	684	639	591	-0.4%
	南砺市	1,456	1,447	1,442	1,379	1,275	1,167	-5.3%
	砺波圏域計	3,063	3,105	3,163	3,108	2,943	2,776	1.5%
	県総計	26,798	28,023	28,925	28,655	27,673	27,041	6.9%

※将来推計は県外在住患者を除外して算出

救急搬送入院全身麻酔手術あり 将来推計（DPCデータ）



2025年→2040年

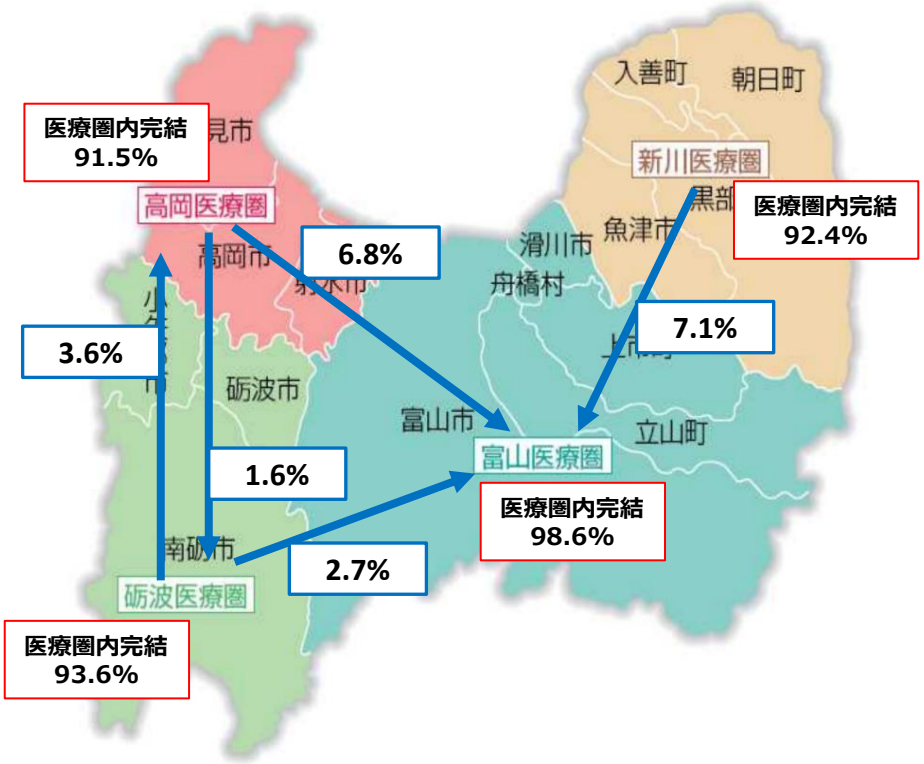
新川医療圏	**▲0.5%**
富山医療圏	4.0%
高岡医療圏	1.4%
砺波医療圏	▲3.1%

入院患者が居住する患者_市区町村名		2025年度 入院患者数	2030年 推計	2035年 推計	2040年 推計	2045年 推計	2050年 推計	患者数 2025年→2040年の増減率
新川	魚津市	64	63	65	66	60	56	2.5%
	黒部市	53	54	56	56	53	51	4.9%
	入善町	32	31	30	29	27	25	-10.3%
	朝日町	13	14	13	11	11	10	-12.7%
	新川圏域計	162	162	165	161	150	140	-0.5%
富山	富山市	605	624	646	639	619	613	5.6%
	滑川市	38	39	38	38	37	37	-0.5%
	舟橋村	1	1	1	1	1	1	-1.4%
	上市町	26	26	25	24	25	23	-6.6%
	立山町	36	35	35	32	33	31	-10.2%
	富山圏域計	706	724	745	734	714	706	4.0%
高岡	高岡市	207	216	221	211	203	194	2.1%
	氷見市	28	27	26	26	24	20	-8.8%
	射水市	102	105	104	105	104	99	2.6%
	高岡圏域計	337	348	352	342	331	313	1.4%
砺波	砺波市	69	70	74	74	71	69	7.5%
	小矢部市	24	22	22	21	19	17	-14.3%
	南砺市	53	51	54	47	42	38	-11.8%
	砺波圏域計	146	144	150	142	133	124	-3.1%
	県総計	1,351	1,378	1,411	1,379	1,327	1,283	2.0%

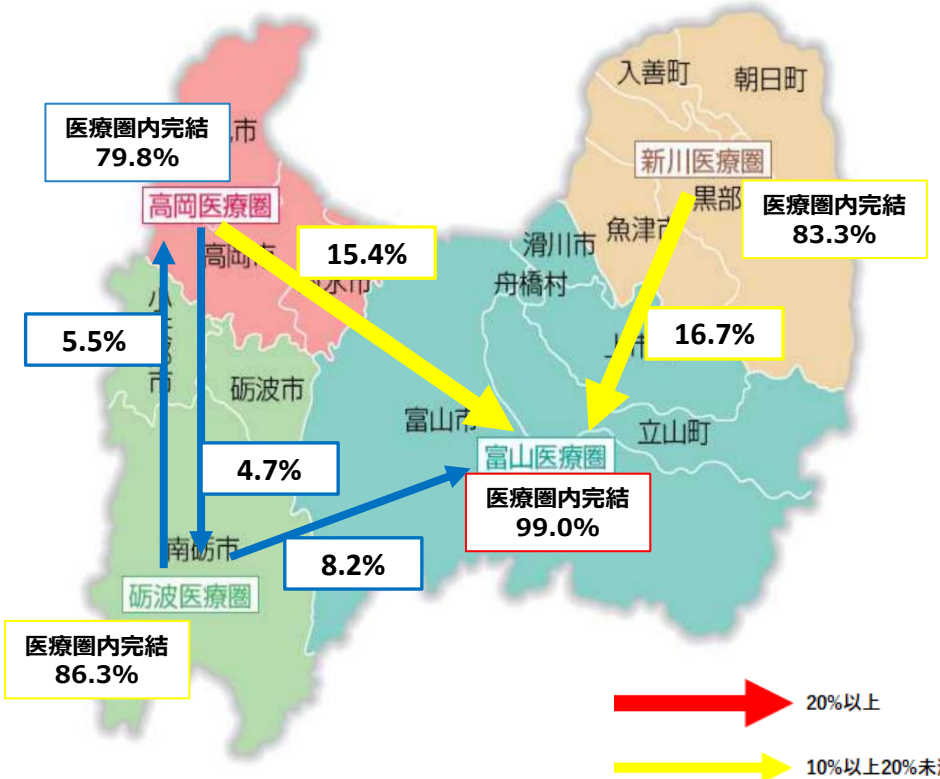
※将来推計は県外在住患者を除外して算出

救急搬送入院全数*・全身麻酔手術あり 医療圏間移動　（2025年度）（DPCデータ）

救急搬送あり全数



救急搬送あり・
全身麻酔手術あり



※矢印の数値は、患者住所地を基準とした医療圏間の流出率

*県内医療機関に入院した患者のデータのみ（県外医療機関で入院治療を受けた患者データは含まない）

医療圏別にみた救急搬送入院全数・全身麻酔手術あり症例数（疾患別）（2025年度）（DPCデータ）

救急搬送あり全数

医療圏コード	1601	1602	1603	1604	
疾患名	新川	富山	高岡	砺波	総計
肺炎・呼吸器感染症	371	2183	908	378	3840
その他骨折・外傷	223	873	485	240	1821
大腿骨近位部骨折	154	681	428	157	1420
脳梗塞	128	694	350	153	1325
心不全	127	673	315	151	1266
尿路感染症・腎盂腎炎	125	673	310	123	1231
その他消化器疾患	112	627	253	112	1104
脱水・電解質異常	157	554	188	163	1062
脊椎骨折・脊髄損傷	116	367	249	138	870
悪性腫瘍	100	470	233	53	856
その他呼吸器疾患	75	414	183	99	771
てんかん・けいれん	97	408	174	69	748
頭蓋内損傷・頭部外傷	81	348	147	110	686
虚血性心疾患	46	372	150	90	658
脳出血	76	306	174	81	637
胆道系疾患	72	345	148	67	632
腸閉塞・イレウス	34	267	111	57	469
心停止・ショック	16	202	105	60	383
敗血症・重症感染症	40	208	101	33	382
大動脈・末梢血管疾患	28	214	72	15	329
消化管穿孔・腹膜炎	17	119	54	25	215
くも膜下出血	7	93	28	17	145
産科疾患	26	69	13	2	110
気胸	9	55	26	14	104
急性虫垂炎	3	51	18	2	74
ヘルニア	4	29	13	8	54
その他	787	3293	1520	677	6277
総計	3031	14588	6756	3094	27469

救急搬送あり　全身麻酔あり*

医療圏コード	1601	1602	1603	1604	
疾患名	新川	富山	高岡	砺波	総計
大腿骨近位部骨折	76	269	102	44	491
その他骨折・外傷	24	91	45	32	192
胆道系疾患	9	39	15		63
消化管穿孔・腹膜炎	9	57	33	13	112
腸閉塞・イレウス	8	59	27	11	105
急性虫垂炎	3	41	12	1	57
くも膜下出血	3	53	10	12	78
その他	2	58	15	7	82
脊椎骨折・脊髄損傷	2	8	2	5	17
産科疾患	2	9		1	12
ヘルニア	1	9	1	2	13
大動脈・末梢血管疾患	1	57	10		68
頭蓋内損傷・頭部外傷	1	15	2	8	26
悪性腫瘍	1	7	2		10
脳梗塞	1	2		2	5
脳出血	1	20	4	10	35
その他消化器疾患	1	8	1	1	11
虚血性心疾患		5			5
気胸		3	2	6	11
その他呼吸器疾患		5	1		6
敗血症・重症感染症		4	1		5
心停止・ショック		2			2
心不全			1		1
総計	145	821	286	155	1407

*全身麻酔手術実施日は入院当日、翌日のみ

※赤枠は85歳以上の患者が総数の5割以上を占める疾患（今後増加が見込まれる疾患）

Ⅴ．救急医療からみた急性期医療提供体制

- 各消防別年齢階級別搬送数では、射水消防を除く全ての消防で85歳以上の年齢が全体の30%を越えており、その下の75~84歳の年齢も30%前後であることから、2040年にかけて85歳以上の救急搬送が大きく増加することが予想される。
- 救急搬送入院患者の将来推計では85歳以上の増加が多い富山・高岡圏域で、全数、全身麻酔の患者数の増加がある。また、85歳以上の増加が少ない新川・砺波圏域では、全数はほぼ横ばいで推移し、全身麻酔の患者数は減少が見られる。
- DPCデータによる救急搬送入院患者では、救急搬送あり全身麻酔手術実施例ありでは、新川圏域内の完結率は83.3%であり、富山圏域に、16.7%の移動がある。
- 救急搬送入院の全数では、85歳以上が疾患患者の総数の50%以上を占める「肺炎・呼吸器感染症」、「その他の骨折」、「大腿骨近位部骨折」、「心不全」、「尿路感染症・腎盂腎炎」が患者数の上位に位置し、また全身麻酔手術を実施の傷病は「大腿骨近位部骨折」が最も多い患者数となっている。

Ⅵ. 在宅医療からみた圏域別将来需要（DPCデータ・KDBデータ）

新川医療圏
退院先別　65歳以上入院患者将来推計

2025年と比べて2040年には、家庭への退院が減少し、高齢者施設への退院が増加する見込み

入院患者が居住する患者_市区町村名		退院先名称	2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数 2025年→2040年の増加率
新川	魚津市	他の病院・診療所	317	321	322	317	305	297	0.1%
		家庭	3,292	3,206	3,117	3,079	3,002	2,903	-6.5%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	164	176	187	194	183	173	18.0%
		介護老人福祉施設	54	55	57	60	57	54	12.0%
		介護医療院	31	34	36	38	33	31	22.6%
		介護老人保健施設	109	117	122	128	124	116	17.1%
		死亡退院等（その他を含む）	321	342	361	369	348	334	15.0%
	黒部市	他の病院・診療所	511	546	575	581	570	563	13.7%
		家庭	2,986	2,983	2,920	2,932	2,901	2,856	-1.8%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	149	160	170	176	172	167	18.4%
		介護老人福祉施設	70	76	82	87	84	82	24.1%
		介護医療院	10	11	12	12	13	12	24.2%
		介護老人保健施設	63	70	77	79	78	75	24.9%
		死亡退院等（その他を含む）	330	351	373	385	384	376	16.6%
	入善町	他の病院・診療所	268	279	283	285	275	259	6.3%
		家庭	2,053	2,013	1,956	1,876	1,780	1,675	-8.6%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	65	68	70	72	66	62	10.8%
		介護老人福祉施設	65	68	74	78	78	72	19.3%
		介護医療院	10	9	9	11	10	9	12.9%
		介護老人保健施設	45	47	52	56	56	52	23.8%
		死亡退院等（その他を含む）	205	213	225	231	218	207	12.6%
	朝日町	他の病院・診療所	111	111	111	105	95	86	-5.8%
		家庭	1,344	1,281	1,197	1,102	990	884	-18.0%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	36	38	39	38	34	31	5.5%
		介護老人福祉施設	103	106	109	109	105	94	5.9%
		介護医療院	1	1	1	1	1	1	2.4%
		介護老人保健施設	35	37	37	37	36	32	5.6%
		死亡退院等（その他を含む）	125	127	133	133	121	109	6.7%
		総計	12,873	12,848	12,707	12,571	12,116	11,612	-2.3%

※2025年度の入院患者の退院先別数に将来推計人口を乗じて算出したものであり、上記の推計数値がそのまま、将来の供給体制の整備内容や規模（施設定員数等）を直接的に定めるものではない。

富山医療圏
退院先別　65歳以上入院患者将来推計

2025年と比べ、2040年には家庭への退院はわずかに増加し、高齢者施設への退院が増加する見込み

入院患者が居住する患者_市区町村名		退院先名称	2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数 2025年→2040年の増加率
富山	富山市	他の病院・診療所	4,159	4,487	4,750	4,791	4,741	4,805	15.2%
		家庭	22,911	22,975	23,058	23,678	24,055	24,159	3.3%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	1,114	1,221	1,336	1,374	1,338	1,335	23.3%
		介護老人福祉施設	431	484	536	571	570	560	32.5%
		介護医療院	265	296	326	339	332	331	28.0%
		介護老人保健施設	523	583	645	669	653	647	27.8%
		死亡退院等（その他を含む）	2,254	2,443	2,610	2,688	2,685	2,704	19.3%
	滑川市	他の病院・診療所	253	274	288	297	299	300	17.2%
		家庭	2,393	2,409	2,415	2,442	2,477	2,469	2.0%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	116	128	141	152	145	141	31.2%
		介護老人福祉施設	121	137	145	148	152	150	22.1%
		介護医療院	19	22	25	26	29	28	34.2%
		介護老人保健施設	76	83	89	99	96	92	29.9%
		死亡退院等（その他を含む）	190	202	217	225	227	227	18.4%
	舟橋村	他の病院・診療所	16	18	20	24	26	29	50.7%
		家庭	120	129	153	179	205	201	48.9%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	5	5	6	6	6	7	16.0%
		介護老人福祉施設	14	14	15	17	19	22	20.2%
		介護医療院	0	－	－	－	－	－	－
		介護老人保健施設	1	1	1	1	1	1	37.8%
		死亡退院等（その他を含む）	22	24	27	30	33	37	35.6%
	上市町	他の病院・診療所	230	248	255	254	250	237	10.6%
		家庭	1,735	1,706	1,662	1,625	1,556	1,487	-6.3%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	68	76	85	89	87	80	31.0%
		介護老人福祉施設	96	106	119	123	109	101	28.6%
		介護医療院	9	11	12	10	10	9	13.3%
		介護老人保健施設	63	71	77	78	74	69	24.3%
		死亡退院等（その他を含む）	176	190	206	211	210	195	19.8%
	立山町	他の病院・診療所	237	252	263	265	256	247	11.9%
		家庭	1,675	1,655	1,624	1,640	1,615	1,544	-2.1%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	103	112	121	126	121	115	22.2%
		介護老人福祉施設	75	85	95	102	104	97	35.9%
		介護医療院	3	3	3	4	4	4	23.0%
		介護老人保健施設	89	99	111	117	109	102	31.0%
		死亡退院等（その他を含む）	177	195	210	217	215	206	22.6%
		総計	39,739	40,744	41,645	42,614	42,809	42,735	7.2%

※2025年度の入院患者の退院先別数に将来推計人口を乗じて算出したものであり、上記の推計数値がそのまま、将来の供給体制の整備内容や規模（施設定員数等）を直接的に定めるものではない。

高岡医療圏
退院先別　65歳以上入院患者将来推計

2025年と比べて2040年には、家庭への退院が減少し、高齢者施設への退院が増加する見込み

入院患者が居住する患者_市区町村名		退院先名称	2025年度 入院患者数	2030年 推計	2035年 推計	2040年 推計	2045年 推計	2050年 推計	患者数 2025年→2040年の増加率
高岡	高岡市	他の病院・診療所	1,300	1,383	1,440	1,449	1,388	1,357	11.4%
		家庭	13,330	13,195	12,806	12,728	12,611	12,479	-4.5%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	458	506	558	578	548	519	26.1%
		介護老人福祉施設	352	397	431	442	431	411	25.5%
		介護医療院	55	60	65	68	70	67	24.0%
		介護老人保健施設	256	282	303	311	295	285	21.4%
		死亡退院等（その他を含む）	1,133	1,216	1,281	1,314	1,280	1,248	16.0%
	氷見市	他の病院・診療所	328	329	325	318	305	283	-3.1%
		家庭	3,752	3,623	3,395	3,219	2,990	2,749	-14.2%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	114	117	123	121	114	105	6.0%
		介護老人福祉施設	139	144	156	158	148	135	13.4%
		介護医療院	29	29	30	31	29	27	6.1%
		介護老人保健施設	72	77	85	84	76	69	16.2%
		死亡退院等（その他を含む）	244	245	253	255	239	218	4.4%
	射水市	他の病院・診療所	582	624	648	659	641	635	13.2%
		家庭	6,446	6,405	6,247	6,305	6,336	6,312	-2.2%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	225	255	288	299	291	278	32.7%
		介護老人福祉施設	136	156	176	194	185	174	42.9%
		介護医療院	26	29	32	34	30	30	32.4%
		介護老人保健施設	97	110	116	122	121	117	25.9%
		死亡退院等（その他を含む）	449	498	550	558	532	518	24.4%
		総計	29,523	29,679	29,309	29,246	28,661	28,017	-0.9%

※2025年度の入院患者の退院先別数に将来推計人口を乗じて算出したものであり、上記の推計数値がそのまま、将来の供給体制の整備内容や規模（施設定員数等）を直接的に定めるものではない。

砺波医療圏
退院先別　65歳以上入院患者将来推計

2025年と比べて2040年には、家庭への退院が減少し、高齢者施設への退院が増加する見込み

入院患者が居住する患者_市区町村名		退院先名称	2025年度入院患者数	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	2050年推計	患者数 2025年→2040年の増加率
砺波	砺波市	他の病院・診療所	332	351	375	402	408	406	21.1%
		家庭	2,560	2,623	2,637	2,715	2,773	2,781	6.1%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	112	122	135	145	136	134	29.6%
		介護老人福祉施設	35	37	43	45	44	43	27.6%
		介護医療院	4	4	5	5	6	6	36.8%
		介護老人保健施設	45	48	52	55	55	54	23.3%
		死亡退院等（その他を含む）	217	229	248	267	265	263	22.8%
	小矢部市	他の病院・診療所	145	150	150	142	135	127	-2.1%
		家庭	1,874	1,851	1,748	1,666	1,568	1,478	-11.1%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	67	67	71	76	73	68	13.7%
		介護老人福祉施設	59	62	67	67	64	59	13.6%
		介護医療院	25	27	29	30	28	25	18.4%
		介護老人保健施設	42	44	50	49	46	42	16.6%
		死亡退院等（その他を含む）	202	207	219	220	204	191	8.9%
	南砺市	他の病院・診療所	405	404	416	399	364	335	-1.4%
		家庭	3,787	3,654	3,424	3,225	3,019	2,819	-14.8%
		社会福祉施設、有料老人ホーム等	188	191	207	201	189	171	6.9%
		介護老人福祉施設	123	125	132	138	138	126	12.1%
		介護医療院	43	44	46	46	44	41	6.6%
		介護老人保健施設	96	99	100	112	108	98	16.8%
		死亡退院等（その他を含む）	344	354	360	356	334	305	3.4%
		総計	10,705	10,694	10,512	10,362	10,002	9,572	-3.2%

※2025年度の入院患者の退院先別数に将来推計人口を乗じて算出したものであり、上記の推計数値がそのまま、将来の供給体制の整備内容や規模（施設定員数等）を直接的に定めるものではない。

訪問診療患者将来推計（KDBデータ）

2024年→2040年

新川医療圏　116.8%　富山医療圏　128.1%

高岡医療圏　126.1%　砺波医療圏　117.1%

患者が居住する医療圏・市町村名		2024年度患者数（訪問診療）	2030年推計	2035年推計	2040年推計	2045年推計	患者数2024年→2040年の増減率
新川	魚津市	575	623	670	686	650	19.4%
	黒部市	295	318	344	352	355	19.2%
	入善町	197	203	215	228	224	15.8%
	朝日町	147	147	151	152	142	3.2%
	計	1,214	1,291	1,380	1,418	1,371	16.8%
富山	富山市	5,026	5,575	6,109	6,447	6,437	28.3%
	滑川市	258	288	315	317	317	22.7%
	舟橋村	8	10	11	13	14	58.5%
	上市町	167	184	203	219	210	31.4%
	立山町	210	231	250	268	267	27.8%
	計	5,669	6,288	6,888	7,264	7,245	28.1%
高岡	高岡市	1,920	2,111	2,298	2,423	2,362	26.2%
	氷見市	566	599	627	649	633	14.7%
	射水市	926	1,045	1,164	1,229	1,210	32.7%
	計	3,412	3,755	4,089	4,302	4,206	26.1%
砺波	砺波市	559	594	659	730	745	30.6%
	小矢部市	349	357	376	390	393	11.8%
	南砺市	615	620	638	663	639	7.8%
	計	1,523	1,571	1,673	1,783	1,777	17.1%

Ⅵ．在宅医療からみた圏域別将来需要分析結果

- 65歳以上の高齢者の入院総数は、新川圏域では2.3％の減少となる。
- 家庭への退院は、全ての市町で減少傾向がみられる。新川圏域では 朝日町が18％減少するが、黒部市は1.8％の減少と圏域内の市町で減少幅に差がある。
- 高齢者施設への退院は全圏域で増加する。新川圏域では、朝日町を除く市町で10％以上の増加がある。
- KDBデータの訪問診療の患者数の将来推計は、新川圏域で16.8％増加する。圏域内では魚津市が19.4％で最も増加率が大きく、患者数の増加も多い。背景には、85歳以上の人口増加、増加率の上昇がある。

【参考】使用データおよび分析方法

DPCデータ

- 令和7年4月～令和8年3月分（1年分）様式1,EFファイル
  - 県全体（患者移動等）：50/67医療機関分、9,299/10,403床分
  - 新川圏域：9/11医療機関分、1,384/1,482床分

KDBデータ

- 令和6年6月～令和7年5月審査分のうち、令和6年4月～令和7年3月診療分
  - 国保、後期高齢のデータのため、75歳以上は悉皆データ

人口動態推計

- 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)』
- http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/t-page.asp

【地域医療推進対策協議会部会における検討のまとめ】

各部会において、医療圏内の現状と課題を整理し、2040年頃の医療提供体制のあり方を検討したもの

資料４

新川医療圏

＜がん＞

①　医療提供体制全般について	②　2040年を見据えた構想区域のあり方	③　②における課題
・標準的ながん診療については、限られた医療資源を踏まえ、圏域内で集約化を図ることにより診療機能を維持し、可能な限り新川医療圏内で完結する。 ・がん診療の中心は外科医が担っているが、その人材の維持が難しくなっており、高度・特殊な医療については、富山医療圏と機能分担しながら対応する。 ・病院・診療所で、各治療期における役割分担と、特に緩和ケアにおいては在宅ケアも含め病院、診療所、訪問看護ステーション等の連携により維持する。	・圏域内で集約化を図ることにより診療機能を維持し、可能な限り新川医療圏内で完結する。 ・高度・特殊な治療に関しては富山医療圏と機能分担しながら対応する。 ・定型的な外科的治療は、新川医療圏で対応していく。 ・放射線治療は、マンパワーの維持・治療機器の維持を前提に、新川医療圏で可能な限り対応していく。特殊な放射線治療については、富山医療圏で対応する。 ・特に緩和的照射については、圏域内で確実に対応していく。 ・がんゲノム医療など新しい治療について、免疫関連有害事象の対応や治療薬の変更などにも対応していく。 ・外来治療については、診療所（かかりつけ医）と連携しながら、引き続き新川医療圏で対応していく。 ・増える傾向にある在宅緩和ケアを、スムーズな病診連携のもと、引き続き診療所（かかりつけ医）を中心に、訪問看護・薬剤師、ケアマネジャーのチームにより対応していく。 ・レスパイト入院にも対応し、患者・家族を含めた在宅緩和ケアの充実を図っていく。 ・在宅でのターミナル期を支えるため緩和ケアに係る薬剤管理が重要である。	・病病連携、病診連携が必要である。 ・富山医療圏との連携が必要である。 ガンマナイフ等 ・マンパワーの維持・治療機器の確保・維持が必要である。 医師の高齢化に対応。外科医の確保。 血液内科専門医、腫瘍内科専門医の確保。 放射線治療機器の確保・維持。 経皮的ラジオ波焼灼療法（RFA）の導入。 ・扇状地ネットやNet4Uなどの活用により、診療所（かかりつけ医）との更なる連携が必要である。 ・マンパワーの確保が必要である。 在宅診療を行う医師の確保。 一部、訪問看護の少ない地域のマンパワー確保・充実。 ・病診連携が必要である。 ・病院所属のがん関連認定看護師が関わることにより、多職種の活性化を図り、限られた医療資源を有効に活用する必要がある。 ・医療用麻薬について、チェーン薬局も含め薬局間で融通できるような体制を整備する必要がある。

＜脳卒中＞

①　医療提供体制全般について	②　2040年を見据えた構想区域のあり方	③　②における課題
・急性期の治療は、新川医療圏内で完結を目指す。	・外科的手術療法や血栓回収療法については、新川医療圏で対応可能な範囲で対応する（対応が難しい場合は、富山医療圏と連携しながら対応していく） ・血栓溶解療法（t-PA）については、新川医療圏で確実に対応していく。	・圏域内の手術実施に必要な脳外科医師が限られており、マンパワーの維持が課題である。
・回復期の治療は、新川医療圏内での完結を基本とし、一部については富山医療圏と連携していく。	・回復期治療については、回復期リハビリテーション病棟に加え、一般病床でのリハビリテーションも活用し、新川医療圏内での完結を基本とする。一部については富山医療圏と連携しながら、リハビリテーション提供体制を維持していく。	・リハビリテーション専門職の人材確保とマンパワーの維持が課題である。

＜心筋梗塞等の心血管疾患＞

①　医療提供体制全般について	②　2040年を見据えた構想区域のあり方	③　②における課題
・急性心筋梗塞には、一刻も早いカテーテル治療が求められる。マンパワーを維持し、できる限り、新川医療圏内で完結する。	・心筋梗塞へのカテーテル治療は時間の制約上、圏域内で完結すべき医療であり、維持していく。	・マンパワーの維持が必要である。 ・必要な検査施設の維持･確保が必要であり、それに伴う収入が必要 である。
・圏域内には心臓血管外科の設置はなく、必要のある患者は限定的であるため、高度医療については富山医療圏と連携する。	・心血管疾患にかかる外科的高度医療については、富山医療圏と連携する。	
・心血管リハビリテーション可能な患者には行っていく。 心血管リハビリテーションができる心不全患者は限られている。多くを占める高齢の心不全患者では、やむを得ず廃用症候群リハビリテーションをするよりほかないケースが多い。	・回復期および慢性期の機能は、新川医療圏で完結するよう続けていく。	・マンパワーの維持が必要である。 ・診療所(かかりつけ医)との連携が必要である。

＜周産期・小児医療＞

①　医療提供体制全般について	②　2040年を見据えた構想区域のあり方	③　②における課題
・分娩数は減少傾向にあるが、正常分娩に対応できる医療体制を維持し、比較的高度な医療機能は富山医療圏と連携していく。	・正常分娩は、圏域内での対応を維持する。総合周産期母子医療センター等と連携し、地域周産期母子医療センター機能を維持していく。	・医師等の確保、妊婦健診や24時間分娩可能な医療体制の維持が必要である。
・ハイリスク妊産婦の増加が予想されるため、保健医療福祉の連携体制の推進がより必要である。	・身体的、精神的、社会的に課題を抱えた妊産婦に対し、切れ目のない支援のため、引き続き医療機関と行政等との密接な連携を維持していく。	・関係機関のさらなる連携が必要である。
・小児の救急医療体制について、関係機関と連携し現状維持を目指す。	・協力病院や医師会と連携しながら、圏域内での体制を維持していく。高度な医療については、富山医療圏と連携し対応する。	・小児医療の人材確保が必要である。

＜在宅医療＞

①　医療提供体制全般について	②　2040年を見据えた構想区域のあり方	③　②における課題
･85歳以上の高齢者の増加、在宅医療の需要が高まるが、医療資源が相対的に少なく、診療所はもとより、病院、訪問看護等の参画が期待される。	･診療所と病院、訪問看護ステーション等が連携した在宅医療の提供体制を維持 ･病院併設型など機能強化された訪問看護ステーション整備	･病院等における在宅医療の体制整備、人材確保･育成が必要である。
･身寄りのない高齢者、老老介護等、複雑で多様な課題を抱える患者が増加し、医療と同様に生活を支える支援がさらに重要となる。	･患者の状態に応じて、医療･保健･福祉･介護等の多職種が連携し、本人の意向や価値観を踏まえたACPを実践しながら、切れ目のない支援を推進	･支援者間で患者のACPを共有、役割分担と情報共有を継続が必要である。
･ICT(Net4U等)の登録施設が減少している。	･地域全体で患者を支えるためのICTの活用を推進	･医療･介護、福祉等関係施設がICTを活用しやすいネットワークの構築が必要である。